

建築と社会

2006 No.1017
Architecture and Society

12

日本建築協会

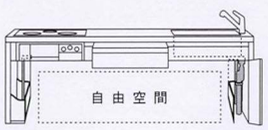
特集　私の空間作法―会員作品―

サンウェーブ

変えられないものは、
未来と呼ばない。

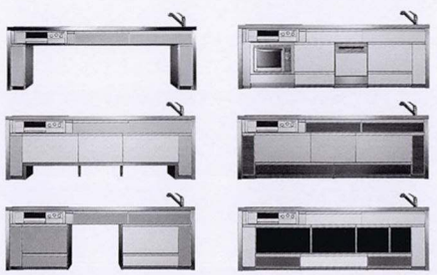
【ゲートシステム】
GATE SYSTEM

ジャマだった配管をゲートに隠し、キッチン下に自由な空間をつくりました。耐久性に優れたステンレスボディで、いつまでも自由なキッチンライフをお楽しみいただけます。



【キューブシステム】
CUBE SYSTEM
×
【スイッチフェイス】
SWITCH FACE

ゲート下の空間を、楽しく活かすキューブの収納。お好きなキューブを組みたてたり後から自由に組みかえたり。また、扉パネルの色を簡単に変えられるスイッチフェイスも〈アクティエス〉だけの特長です。



〈アクティエス〉が、
キッチンを変える。

日本のキッチンを見つめ続けてきたサンウェーブが出したひとつの答え。それは、後から「変えられる」という未来を見通したシステムキッチン。あなたのお好みやライフスタイルが変わった時は、ゲート＆キューブシステムとスイッチフェイスで、どうぞご自由につくりかえてください。そう、未来はあなたに合わせて変えられるのです。

サンウェーブ50年目の解答です。

2004-2005
グッドデザイン賞
金賞受賞
—経済産業大臣賞—

【アクティエス】
Actyes
Be to Sustainable Design Kitchen

お近くのショールームやカタログで「なるほどね」を実感してください。
0120-1905-21 www.sunwave.co.jp ショールームのお問い合わせやカタログのご請求はこちらまで。

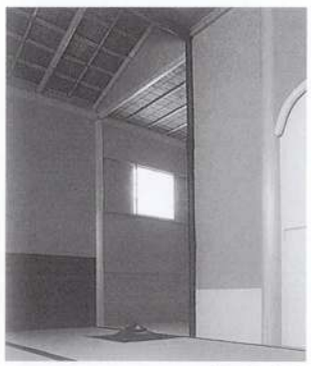
札幌 011-856-6618・仙台 022-218-3320・盛岡 019-635-3131・新宿 03-3370-7150・立川 042-535-3894・横浜 045-681-1490・厚木 046-221-8167・千葉 043-266-4510・さいたま 048-663-1124・宇都宮 028-632-3271・新潟 025-243-5256・長野 026-227-1887・名古屋 052-788-7851・金沢 076-224-6255・静岡 054-264-7407・大阪 06-6251-8276・京都 075-312-3401・神戸 078-361-3220・広島 082-832-5277・岡山 086-243-4460・高松 087-867-5953・福岡 092-472-6939・鹿児島 099-254-9807 ※営業日、営業時間はショールームにより異なりますので、事前にご確認のうえお出掛けください。

リフォームのことならおまかせください!
サンウェーブ リフォームショップ
http://www.swrb.jp/

サンウェーブ工業株式会社 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-10

会告

第23回茶室見学会
朝雲庵
—利休大坂屋敷の茶室の復元—



朝雲庵内部

日　時　2007年1月27日(土)
14:00～16:00
講　師　中村昌生
京都工芸繊維大学名誉教授
集　合　現地・併設施設「江久庵」2階
／南海高野線堺東駅から徒歩約10分
定　員　30人（申込者多数の場合は抽選）
参加費　会員3,000円、一般4,000円
学生半額　＊税込
申　込　1月15日(月)までに
FAXまたはE-mailで、
①催し名「茶室見学会」
②氏名
③会員・一般の別
④職場名または学校名
⑤参加証送付先（郵便番号）
⑥連絡先電話番号
をお知らせ願います。
申込先　(社)日本建築協会編集事業課
〒540-6591
大阪市中央区大手前1-7-31
（OMMビル7F）
TEL：06-6946-6981
FAX：06-6946-6984
E-mail：jigyoka@aaj.or.jp
申込先　(社)日本建築協会編集事業課
事業委員会情報見学小委員会
担当主査　森田芳次／安井建築設計事務所

千利休ゆかりの地・堺市にこのたび、秀吉の築城後、利休大坂屋敷に実在した「御成りの茶室」が復元されました。この茶室は秀吉の御成りを念頭において、点前座が客座からは見えにくいように構成された三畳台目構えの初めての試みであると言われています。客を上座に迎え、亭主は下座で茶を点てるもてなしのこころを強調した侘び茶の原点に立ち戻ったかのような深い思惑がうかがえます。

これまで実在しなかった茶室と言われてきましたが、このたび、民間企業の力添えで書院や庭園を備えて、中村先生の監修により、利休の弟子山上宗二が書きのこした間取り図や当時の茶会記などの資料をもとに、4世紀ぶりに復元され「朝雲庵」と命名されたものです。
本見学会では、復元に対する先生のご苦労話も含めてお話をお聞かせ願えればと思います。　（森田芳次）



朝雲庵平面図

監　修　中村昌生
設計監理　財団法人 京都伝統建築技術協会
施　工　建築／株式会社 安井杢工務店
建物面積　72.49㎡
付帯設備　広間、書院、日本庭園

第6回 読者と選ぶ「建築と社会」賞 実施(予告)

2006年1～12月号「建築と社会」誌から

本号P37に2006年の「建築と社会」総目録を掲載しました。ご参照下さい。

■賞の趣旨
「建築と社会」という本誌の趣旨にふさわしい社会性・環境などに配慮した有意義な建築作品や建築にかかわる論文・記事などを顕彰する。選考にあたっては、会員の声を反映し、広く開かれた賞とする。
■選考対象
本誌「建築と社会」2006年1月号～12月号に掲載された作品及び個別の論文・記事などを対象とする。（○○年○月号掲載の論文・記事名及び同執筆者名を明記の上、ご投票ください）
・「作品作風頁」欄掲載の建築作品
・「本会支部作品頁及びそれに準ずる作品頁」掲載の建築作品
・「特集頁」掲載の論文・記事―ただし特集頁全体は選考対象としない―
・「シリーズ頁」の論文・記事（研究の風景、gallery）
・「実務の頁」の論文・記事（法令コーナー、構造の頁、設備の頁、新建材の頁）
■賞の部門
・作品部門　1～4点
・論文・記事の部門　1～4点
■選考方法
会員読者による第一次審査を経て、選考委員会による第二次審査にて決定する。
■第6回選考委員―折衝中―
■第一次審査
e-mail：ken-sha@aaj.or.jp または「建築と社会」会告欄の読者アンケート用紙を用いてFAX（06-6946-6984）で投票されたものの中から、「作品」及び「論文・記事」を編集委員会において各部門10点程度を選出。これを第二次審査対象とする。
■第二次審査
第一次選考を通過した選考対象のうち作品部門については、該当者に説明資料を求めることがある。
■発表と表彰
作品部門は建築主、設計者、施工者の中の代表者に賞状(記念楯)を贈呈する。論文・記事部門は執筆者（複数の場合は代表者）に賞状(記念楯)を贈呈する。

「建築と社会」賞 読者アンケート

送付先
(社)日本建築協会
FAX06-6946-6984
e-mail:ken-sha@aaj.or.jp

「建築と社会」では読者の方々のご意見を参考に、充実した誌面づくりをめざしております。2006年1～12月号で、とくによいと思われた作品、記事、その他についてのご意見をFAXまたはe-mailでご送付下さい。このご意見は、読者と選ぶ第6回『建築と社会』賞の1次選考に反映されます。

お名前＿＿＿＿＿＿＿＿

勤務先＿＿＿＿＿＿＿＿

□とくによいと思われた作品とその理由

□とくによいと思われた記事とその理由

□本誌についてのご意見や、取り上げてほしい内容などがありましたらご記入下さい。

「日本建築協会80年史1917-1996」

増刷頒布中　頒価　3,000円



A4判・240頁・並製本

1999年7月に発刊した「日本建築協会80年史1917-1996」は、各方面から好評をいただいておりますが、このたび、皆様の強いご要望により、増刷・頒布することにいたしました。大正6年3月30日に関西建築協会として誕生した日本建築協会の80年の歴史を、様々な事業や委員会活動を通じて、また、本会設立者の片岡安、武田五一以降現在までの会員たちの社会活動を通して知ることができる記念誌として、A4判・240頁にまとめています。

とくに、協会草創期の大正・昭和初期の片岡安ら協会のメンバーと当時の大阪市長・関　一との交流を物語る一文は、大阪の都市計画史、あるいは関西の建築人物誌ともなっています。本会の歴史を知るだけでなく、建築を通して、それぞれの時代の雰囲気を身近に感じることができる大変貴重な資料となるものです。

購入ご希望のかたは、下記要領でお申し込み下さい。

＊

申 込 先　社団法人 日本建築協会
〒540-6591　大阪市中央区大手前1-7-31
大阪マーチャンダイズ・マートビル7階B室
TEL 06-6946-6981　FAX 06-6946-6984

頒　　価　1部3,000円（税・送料込み）

※増刷部数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

「日本建築協会80年史」

●日本建築協会の沿革／委員会活動／「建築と社会」の変遷／大正時代から現在までの本会主催の博覧会・展覧会・講演会／よろず相談住宅展／青年建築家・青年技術者顕彰／工高生デザインコンクール入選者etc.

●日本建築協会創立者と会を支えた38人のプロフィール（片岡　安・設楽貞雄・武田五一・池田　實・波江悌夫・竹腰健造・尾崎久助・東畑謙三・塚本猛次・福田朝生・佐野正一・葛野壮一郎・横濱　勉・松本禹象・宗　兵蔵・園部文雄・日高　胖・野村一郎・古宇田　實・松室重光・松井貴太郎・安井武雄・中澤誠一郎・坂　静雄・今林彦太郎・井上新二・松本儀八・池田宮彦・錢高輝之・中西六郎・大林芳郎・鴻池藤一・伊東五郎・竹中錬一・鷲尾健三・松村雄吉・横尾義貫・足立　孝）

●座談会「戦中から戦後初期の協会活動」―尾亀清四郎・大林芳郎・小西　岬・佐野正一・横尾義貫・三品哲夫の6氏による終戦前後の協会活動の証言―

＊

■執筆ワーキンググループ
坂本勝比古／安達英俊／石田潤一郎／植松清志／梅宮弘光／桐浴邦夫／酒井一光／橋寺知子／山形政昭／吉田高子／和田康由

■80年史編纂委員会
長谷部朔郎／安達英俊／近藤達夫／谷淳之介／十倉　毅／原見昌志／和田康由／吉田悦二



「日本建築協会の遺産と功績」（坂本勝比古）より



「草創期の人々」より片岡安の項

今月の表紙

企　　画　中村 文紀
企画・写真・デザイン　伊藤　彰

輪郭が与えられてはじめて光の空間は認識される。昼は光が充満し、夜は自らが発光体となって放散する。その空間に感動、共感をおぼえるかどうかは輪郭を構成する皮膜の意匠に因るところが大きい。

（中村 文紀）

建物名
扇町キッズパーク

建築と社会

Architecture and Society　JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

1917年創刊　第87集　通巻1017

2006 12

■特集予告
1月号／京都支部特集
2月号／学校新時代
3月号／東海支部特集
4月号／90周年記念号

編集委員会（平成18年度）

■副会長　△中塚　光一
井上　豊　難波　尚
中井　進　肥嶋　好浩
■編集担当理事　房安　智也
上原　正行　向井　洋一
岡田　聿之　安野　郷
木戸　徹　□設備分科会
佐藤　栄一　△赤澤　正治
佐藤友美子　石井　勝秋
◎設楽　貞樹　梶井　宏修
竹中　統一　河井　康人
立成　良三　近藤　国夫
吉村　英祐　谷野　太志
■特集小委員会　夏井　重行
□計画分科会　福谷　周
★計画系　桝井　貴廣
飯田　匡　村上幸三郎
鈴木　克彦　山下　修
田中　直人　□施工材料分科会
高橋　和也　石原　卓也
辻　武之　平田　茂良
紅谷　昇平　平野　剛
松田奈緒子　△藤丸　啓一
△三宅　次郎　山岡　篤人
森　康郎　吉田　正友
守井　辰　□法令分科会
吉村　英祐　△赤井　英稔
★建築計画系　片岡　正和
安部　新二　七堂　元敏
△荒木　宏之　中迫　悟志
江副　敏史　根岸　芳之
奥村　朋孝　文山　達昭
菅野　忠司　山口　一郎
神戸　嘉也　■作品作風小委員会
木多　彩子　赤木　隆
楠　敦士　石塚なぎさ
小林　優子　居内　章夫
所　千夏　○井上　雅祐
野田　隆史　稲垣　和江
枇杷　健一　池上　明
松森　織江　川上比奈子
★インテリア・住系　倉渕奈千子
阿部　泰浩　澤田　純一
加藤　力　戸川　勝之
神谷　浩司　鞆野　淳司
黒柳　亮　豊田　充広
高野　直樹　中村　文紀
田中　浩介　芳谷　晴彦
戸井賢一郎　増田　敬彦
ベリー史子　山田　俊紀
本山　仁　■広告企画小委員会
□構造分科会　荒木　俊明
秋田　智　今井　成年
岸本　光平　大竹　賢次
木下　隆嗣　○虎谷　伸幸
瀧野　敦夫　古畑　健一
鶴田　潤　○前田　衛
森川　幸信

◎委員長　○副委員長　△幹事

印　刷　2006年11月25日
発　行　2006年12月1日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市中央区大手前1-7-31
電　話　06-6946-6981
振替口座　00910-9-39975
印刷所　青葉印刷株式会社
(株)NPCコーポレーション
定　価　1200円〔税込〕

特集●　**私の空間作法** —会員作品—

光のある家●大江泰輔 —— 14
落ち着ける家●稲垣元宣・稲垣和江 —— 15
ワンボックス・ハウス—浮遊する白い箱—●森村政悦 —— 16
大きな自然と交信するまちの住まい●新居照和&ヴァサンティ —— 17
くつろぎの時●村重保則 —— 18
風景となる空間●池井　健＋平尾和洋 —— 19
ない　をたす●岡﨑善久・三宅　純 —— 20
異空間へのいざない●中尾勝悦 —— 21
レトロとモダンの融合●岸　— —— 22
現代的な和の設え●吉村篤— —— 23
地域風景に参加する●上谷重男 —— 24
誘い（ふたたび動き出すために…）●塚口明洋 —— 25
本と遊び学ぶ●美濃吉昭 —— 26
土蔵と土塀・植栽で風景をつくる●長瀬博— —— 27
住まい創りは永いおつき合い●河南重雄 —— 28
共有する廊下●東井嘉信 —— 29

会告　第23回茶室見学会「朝雲庵」—利休大坂屋敷の茶室の復元—．第6回読者と選ぶ「建築と社会」賞実施（予告）　1

作品作風　ミント神戸（神戸新聞会館ビル）　4
コスメック新社屋　6
遠藤照明本社ビル　8

研究の風景　本多友常・平田隆行研究室（和歌山大学システム工学部）　10

gallery　異世代交流の彩（河野　守）●芳谷晴彦　12

設備の頁　コージェネの実施例と試算●木村紀雄　31

法令コーナー　京都市における建物の高さとデザイン、屋外広告物の規制の見直し●石村陸貴　32

information　前川國男建築展in京都.フランク・ロイド・ライトと武田五一.日本の空間デザイン2006展.『ボロボロ ドロドロ展』.夢の美術館：大阪コレクションズ.NHK日曜美術館30年展.京都の画家シリーズ「徳岡神泉展」.松下資料館と京セラファインセラミック館の見学.ロレアル賞連続ワークショップ2006.南港ヌーヴォーあらわる.インテリアプランニング賞2006.大阪・心ふれあうまちづくり賞.摂南大学で非常勤講師公募　34

月間の動き　平成18年10月分　36

総目録　「建築と社会」第87集1月号～12月号　37

特別企画　knowledge アスベストを知る…すべてに安全な建物を目指して−3−●㈱エーアンドエーマテリアル　44



作品
作風

設計・監理■
竹中工務店
（デッキ・バスターミナル設計：パシフィックコンサルタンツ）

施工■
竹中工務店

ミント神戸（神戸新聞会館ビル）

神戸震災復興のシンボルとして

阪神・淡路大震災の被害を受け、故村野藤吾氏が設計した旧神戸新聞会館が解体されてから11年、ようやく新しい神戸新聞会館が竣工を迎えた。建築主のみならず、行政や市民にも待ち望まれたこの三ノ宮駅前一等地の再生プロジェクトは、神戸新空港の開港や国体開催と相俟って、神戸震災復興のシンボルとして全国に神戸の「元気」を発信することが期待されている。

「つよく」て「やさしい」長寿命型ビルディング

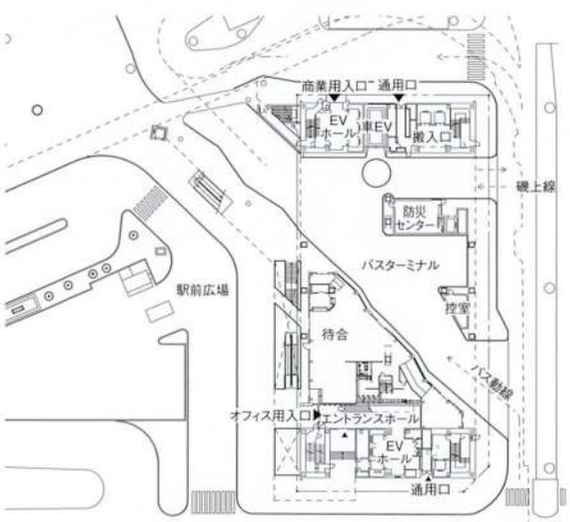
駅前に建つランドマークビルとしての「つよさ」（全体の統一感、外壁としての強度、メンテナンス性、熱負荷の低減）を実現するために、外装はタイル打込みPC板とし、その表面を柔らかい表情を持ったタイルで包み込むことにより、ボリウム感を和らげ、市民に親しんでもらえる「やさしさ」のある外観としている。

タイル色は「自然の持つ『奥行き感＝透明感』」を表現するために、グリーン系の色でまとめ、凹凸・土・釉薬・色比率等を慎重に選定することで、タイルの１枚１枚が自然環境に感応して表情を変えるような「奥行きのある質感」としている。全体を覆う大中小の３つの奥行きを持ったアルミマリオンは、さらにその一つ一つに「丸み」と「襞」をつけて、見る角度や時間・季節によって、様々な色合いや陰影が顕れるようにした。マリオンにはビル全体に統一感を与えるとともに、ゴンドラレール、環境配慮のための日除けルーバー、夜景を演出する照明装置といった機能的な役割も持たせている。

「環境・交信・賑わい」をテーマにしたアート

ビルには情報発信型ビルにふさわしい４つのアートをちりばめている。西面外壁には地球に降り注ぐ宇宙線を感知して光る「SUPERNOVA」、Ｂ１階地下通路には風向と風速によって表情を変える「Twinkle Breeze」、西面デッキ横には神戸市３層ネットワークを象徴し、地下と地上の都市環境を繋ぐ「CHANNEL」、１階エントランスには神戸新聞グループの歴史を刻み、時と交信する「M」。情報発信企業がプロデュースしたビルにふさわしいアートとして、その存在がビルとともに市民に親しまれることを願っている。

（茨木　保・日野宏二／竹中工務店）



1階平面図　1：1500

所 在 地 ——神戸市中央区雲井通7-1
敷地面積 —— 2,560.14㎡
建築面積 —— 2,240.31㎡
延床面積 ——41,337.11㎡
構造規模 ——S・SRC・RC造、B2、18F、P1
工　　期 ——2004年９月～2006年８月
最 寄 駅 ——JR東海道線・三ノ宮駅
撮　　影 ——松村芳治・古川泰造（※）



※






KOSMEK

作品風作

建築主■
コスメック

設計・監理■
安井建築設計事務所

施工■
建築：竹中工務店
電気：きんでん
空調：三機工業

株式会社コスメック新社屋

「拡張性があり高い成果を出すための建物を創る。」　建築主と共有したテーマであった。本建物は工場エリアと執務エリアの二つの部門に分かれている。生産部門の工場エリアは、12ｍ×24ｍの大スパン柱グリッドを基本モデュールとし、フレキシブル性と拡張性を高めた平面計画とした。工場内は、開放的な天井高さとハイサイドライトからの自然光の導入と自然換気、工場内騒音を軽減する吸音材の配置などにより、作業効率の向上を目的とした空間の快適化を行った。

高い成果を期待する建物を実現するために執務空間の中央部に二層吹抜けのコミュニケーションロビーを設けた。連続するハイサイドライトにより自然光の溢れる空間とし、これに面して執務空間を配置し、透明なガラスの間仕切とすることでロビー空間の自然光を執務空間へ導入した。同時に、それぞれの空間を視線で繋げることで内部空間の一体感をより深めた。

ロビーには、建物内の動線の中心となる階段とエレベーターを配置し、人の行き交いから生まれる偶発的なコミュニケーションを誘発する空間とした。

外観デザインは、先端的なものづくりを目指す企業の顔にふさわしくシンプルであり、かつ印象的な表情とした。建物南面の庇による陰影が建物の表情に深みを与え、金属のシャープさと軽快さを同時に表現し、先端企業としてのイメージをつくり出すことをねらっている。

コミュニケーションから生まれる新たな発想や、情報が「ものづくり」には不可欠であると考える。各々の空間とそれらをひとつにまとめるコミュニケーションロビーが企業の高い成果へと繋がるキッカケの空間となることを大いに期待している。

（庄野利博・山田功次／安井建築設計事務所）



所 在 地 ――兵庫県神戸市西区室谷2-1-5
敷地面積 ――18,850㎡
建築面積 ――　8,585.02㎡
延床面積 ――10,589.25㎡
構造規模 ――S造、2F
工　　期 ――2005年12月～2006年８月
最 寄 駅 ――神戸市営地下鉄・西神南駅
撮　　影 ――名執一雄（ナトリ光房）



交流をうながす２層吹抜けのコミュニケーションロビー







作品

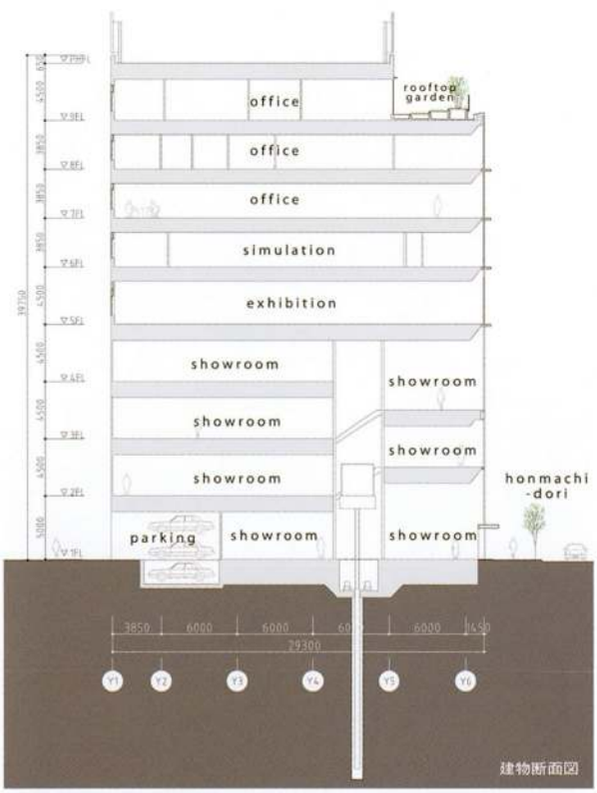
設計・監理■
昭和設計、アーバン・エース

施工■
竹中工務店

遠藤照明本社ビル

遠藤照明本社ビルは大阪市の中心業務街に位置し、照明メーカーの本社オフィス及び照明製品と輸入家具のショールームを持つ自社ビルである。「建物全体が照明とインテリアのプレゼンテーションビル」をテーマにショールーム内部を道行く人に見せる透明度の高いファサードと、建物内部はオフィス、ショールーム、プレゼンテーションルームなどの新しいインテリア演出のベースとなるシンプルな空間としている。ショールーム内部はスキップフロアとこれを繋ぐ階段と大型のシースルーエレベータによる動きを伴う要素を見せることで来館者を外部から上層階まで誘い込む個性ある外観とダイナミックな内部空間を創っている。オフィス部分は階段、エレベータ等のコアを集約することで、ワンルーム利用が可能なフレキシビリティの高い効率的な整形のオフィススペースを確保している。最上階はセットバック部分を利用した屋上緑化庭園を組み合わせることで社員のための潤いのあるリラクゼーションスペースを設けている。

（佐々木栄・荻野恵悟・中山　至／昭和設計）



建物断面図

所 在 地 ―― 大阪市中央区本町1-6-19
敷地面積 ―― 522.69㎡
建築面積 ―― 404.84㎡
延床面積 ―― 3,412.19㎡
構造規模 ―― SRC造、一部S造及びRC造、9F
工　　期 ―― 2005年8月～2006年6月
最 寄 駅 ―― 地下鉄・堺筋本町駅
撮　　影 ―― 野竹　満／ブロード
営業時間 ―― ショールーム10：30～18：30　定休日　日曜・祝祭日




1階ショールーム


シースルーエレベータ


9階ホール

研究の風景

和歌山大学
システム工学部

本多友常・平田隆行研究室

本多・平田建築設計ゼミでは、建築的思考を通して世界に向かう視座を求め、研究と実践を表裏一体のものとして捉えている。研究室では現在高野口小学校の増築・改修設計、廃校となった上秋津小学校の利活用の設計などを手がけているが、学生たちに対しては、自主性を重んじた研究テーマによる課題発見や、演習を積極的に奨励している。
この方針にのっとり、約30名を超すゼミのメンバーたちはそれぞれ多様な活動を行っているが、ここではそのうちの8名の有志による手作りの「建設」を紹介する。それは企画から設計、許可申請、資金計画、材料調達、施工、安全確保にいたる全過程を自らの手で完遂した、劇的な実話である。

猿風（yenhoon）

猿風は、本多・平田研究室に所属する８期生の８人が集まって結成した、設計・デザイン集団の事をいいます。猿風は建築または様々な創造的活動を３つの目標を掲げて行っています。それは、挑む・創る・発信するということです。様々な事に挑戦し新しい考え方やものの捉え方を学び、創造的な発想や行動力により社会に貢献し、また学生による新たな社会像、大学像を描きたいと思っています。この猿風という名は、以前先輩が行っていたデザイン集団の名であり、その意思を継承し発展させる事を約束し、その名を名乗る事にしました。



▲猿風メンバー。左から、多賀麻衣子、藤井将功、前田賢一、上田寛彬、山本恭史、坂口裕子、山本英之、藤田みどり（2006.4.27 現場にて）

マット小屋創ろうプロジェクト2006

このプロジェクトは、猿風のメンバーがデスクワークだけではない、モノとして残る活動をしたいという目標を掲げ、2005年４月のゼミ配属より以前の段階から構想始めていました。企画構成の段階において、和歌山大学の中に高飛び用マットの収納庫が欲しいという要望がある事を知りました。そこで、学長に学生が大学をつくっていくという新たな活動の意義を直接訴える事で、資金面等の多大な支援を得る事ができ、学生の力でマット収納庫をつくることになりました。そして、その活動においても研究室だけにとどまらず、大学や地域のネットワークを最大限に活用したプロジェクトです。



▲竣工式での記念写真（2006.7.3）



1.成安造形大学にて大岩先生に話を伺う。2.平田さんと本多先生を交えて、安全対策についての確認。3.工務店にて平田さんの指導。4.大島さんからベイルづくりを教えてもらう。

ネットワークをつくる

このプロジェクトを達成する上で様々な分野の方の協力は大きな力となりました。ストローベイル工法という新たな工法を採用する上で、その先駆者でいらっしゃる成安造形大学の大岩剛一先生、そのお知り合いの大島氏の指導を受けました。また施行技術に関して素人同然であった学生に対し、木の加工、組み立ての方法だけでなく、木の持つ性質や意味、また仕事に対する取り組み方など、多くの事を和歌山市内にある平田建設の大工さん方に丁寧に指導していただきました。その平田建設さんの紹介により、土工、配筋、コンクリート、土壁作りの左官さん等、多くのつながりが生まれました。このようなネットワークを作り出せた事が研究室だけではなく、外に飛び出たこのプロジェクトの大きな成果となりました。

工程表

9.27	現場	市役所
9.1	現場	確認検査　検査済証受理　全行程完了
8.25~8.31	現場	新聞部の取材
8.24	現場	片付け作業
8.19	現場	土壁塗り
7.3	現場	竣工式
7.28	現場	屋根取り付け完了
		無双窓取り付け　壁面ガルバニウム張り
7.26	現場	鎧張り取り付け
7.22~7.23	現場	土壁塗り
7.21	現場	ストローベイル積み完了　リビング和歌山掲載
7.19		わかやま新報掲載
7.18		朝日新聞掲載
7.17	現場	ストローベイル積み開始
7.16	現場	ストローベイル搬入
7.15	名古屋	ストローベイル作り
7.15	現場	屋根取り付け開始
7.7~7.14	現場	仮筋交い　垂木取り付け
7.6	現場	棟上げ　朝日新聞取材　リビング和歌山取材
7.5	大学	安全確認の最終打ち合わせ
7.4	平田建設	安全確認についての打ち合わせ
7.3	市内	新聞社聞り　柱取り付け
7.1	大学	弓印刷
6.30	現場	仕口調整
6.29	現場	足場運搬　足場とりつけ
6.28	平田建設	外柱加工
6.27	平田建設	足場、親綱などの安全についての話
6.26	平田建設	外柱加工　棟木の加工
6.23~6.24	平田建設	母屋　棟木の加工
6.22	平田建設	火打ち　頬杖加工
6.21	平田建設	母屋加工
6.19~6.20	平田建設	柱　束加工
6.16~6.17	平田建設	梁加工
6.15	平田建設	桁加工
6.14	大学	クリエ発表
6.13	平田建設	桁加工
6.12	平田建設	平田さんの現場　桁加工　金具見学
9.11	現場	わら干し作業
6.9~6.10	現場	加工道具準備
6.8	資材置き場	土台敷き付け
6.7	現場	型枠をとった
6.3~6.5	現場	基礎の墨だしについて聞く
6.1	平田建設	独立レベラー
5.31	現場	立ち上がりレベラー　独立コンクリートうち
5.29	現場	立ち上がりレベラー　レベラー
5.28	現場	立ちあがりのつら線ひき
5.27	現場	立ちあがり
5.25	現場	コンクリート型枠
5.21~5.24	現場	土間コンうち
5.20	現場	鉄筋組み
5.16	現場	コンクリート型枠づくり　原さんに会う
5.9~5.15	現場	モルタル（捨てコン残り打ち）　コンクリート釘
5.8	大学	スペーサー
5.6	現場	鉄筋加工　基礎ほり
5.1	平田建設	型枠に必要な部材をかりる
4.30	平田建設	型枠について教えてもらう　金具の確認
4.29	現場	捨てコンうち　木材届く
4.27	現場	捨てコン練り石のレベル出し
4.26	現場	基礎に必要な道具を借りる
4.25	平田建設	捨てコン練り石のレベル出し
		森窪さんに基礎について教えてもらう
4.24	現場	基礎掘削　練り石hき
4.23	現場	練り石の運搬　25日往復
4.22	現場	木材を運ぶ
4.21	現場	森窪さんと基礎についての打ち合わせ
4.19	施設課	予算の話
4.17	市役所	計画通知受理
4.14	平田建設	発注確認
4.11	現場	
4.10	現場	
4.8	平田建設→現場	木材を大学に持ち帰る
3.24	市役所	各条の許可申請がおりる　計画通知を申請する
3.18	平田建設	クリエ発表
2.26~3.10	大学	土台　柱の加工
2.26	平田建設	墨出し、土台の加工について習う
~2000年		
12.18	現場	ストローベイルワークショップ
11.26	現場	ストローベイルワークショップ
11月初旬	平田建設	廃材運搬
10月後半	嵯峨小学校	廃材釘抜き
10.17	嵯峨小学校	小学校解体　廃材運搬
10.1	嵯峨小学校	木材見　現場監督と挨拶
9.28	嵯峨小学校	小学校屋根実測
8.22	嵯峨小学校	小学校下見
8.6	市内	有識者への構造の相談
8.3	成安造形大学	大岩先生にレクチャーを受ける
~	大学	ストローベイルについて
4月	大学	設計についてのミーティング
~2000年		計画立ち上げ　emo06結成

▲小屋南側の土壁（全長15メートル）



▲定点カメラによる小屋づくりの連続写真

小屋づくりの工夫

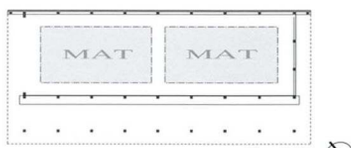
このマット小屋は、３×６mのマット２枚を収納する面積を必要としました。そのための総費用は約２５０万円という限られた資金もあり、古材利用、ストローベイル工法、木造という選択をしました。古材は廃校の解体という話を聞き、自ら選別し、加工し直す事で、土台と柱として小屋を支えています。またストローベイル工法を採用するにあたり、そのストローベイルの材料であるワラを農家の方にいただき、名古屋まで持っていき作りました。またその壁を土壁にするためワークショップを行い、土を５回塗るという体験をする事が出来ました。そして、木造の建築のあたたかな軒下をつくることで、収納庫だけでなく、レストスペースを生み出す事が出来ました。

建築面積:90.72㎡　延べ床面積:90.72㎡
階数:地上一階
構造:木造在来軸組工法　基礎:ベタ基礎
主な仕上げ　屋根:ガルバリウム鋼板
外壁:ガルバリウム鋼板　土壁

ストローベイル

ストローベイルとは、直方体に圧縮したワラのブロック（ストローベイル）を積み上げて成す壁材のこと。そのストローベイルをレンガ組のように積んでいき、竹串とワラ縄により固定するという単純なものである。積んだストローベイルの壁に土を塗ることで、防湿性、断熱性に優れた室内空間が可能となる。完全に自然素材の為、エコロジカルな工法として近年注目されつつある工法である。
なお、このマット小屋は和歌山県内３事例目となる、珍しいストローベイル建築である。

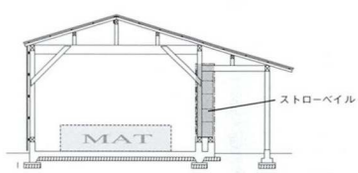
Drawing



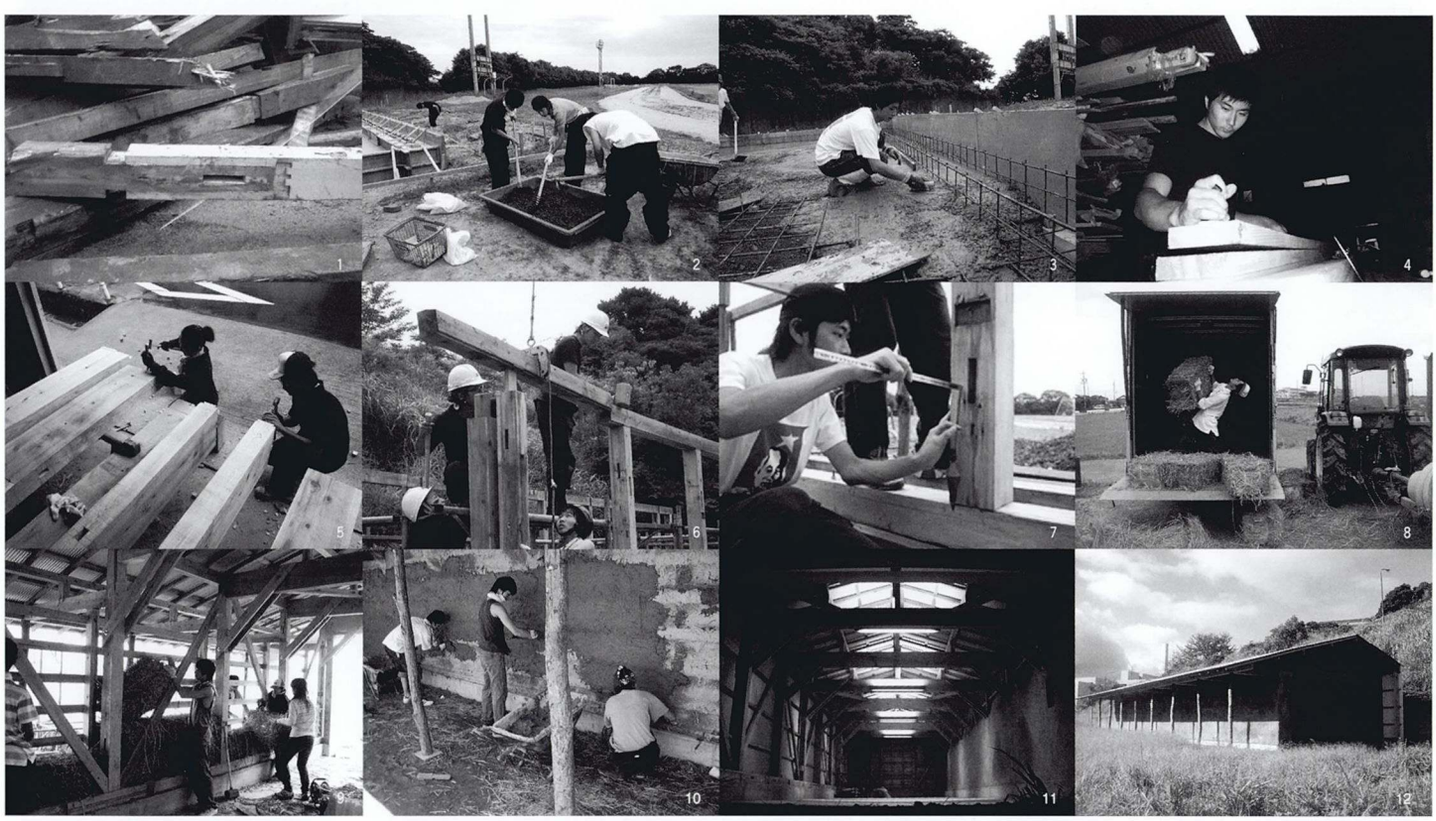
Plan 1:400



Elevation 1:400



Section 1:200



1.嵯峨谷小学校から持ち帰った廃材。2.打ち忘れ、修正用のコンクリートを練る。3.土間コン打ち。4.木材の墨入れ（平田建設にて）。5.梁の仕口加工（平田建設にて）。6.桁の取付け。7.棟上後の水平垂直方向に対しての修正作業。土台と柱には廃材を使用している。8.完成したストローベイルブロックの搬入（名古屋にて）。9.ベイル工法での壁作り（ワークショップ）。10.土塗りワークショップ。11.完成後の小屋の内観（夜）。12.完成後の小屋の外観（南側から）

写真：猿風　編集・レイアウト：山本恭史　文：前田賢一

gallery

異世代交流の彩

京都御池中学校モニュメント

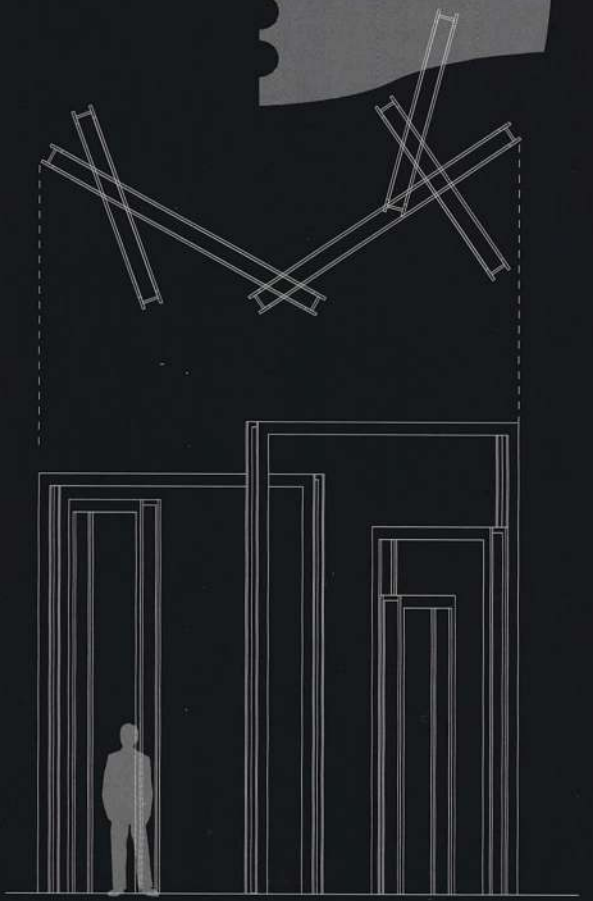
ガラス作家
河野　守

株式会社陶額堂ガラス工房勤務
http://www.togakudo.co.jp









五つの色相は、多世代交流型複合施設を象徴するオブジェクトの主題として陰陽五行説からとりあげたもので、所在地である京都という都市のデザインコードに通じています。それぞれの色の意味を大切にし、粉砕したガラス粒、コバ立て積層、割れ肌、カジリ加工など様々な手法を用いて構成したのち加熱焼成して一枚の板に仕上げます。主題色を単調に感じず、単一色相の多様性として表現したいと考えました。

kawano mamoru
1972 大阪生まれ/1994 近畿大学卒業1/1995 株式会社陶額堂入社

企画編集　芳谷晴彦（作品作風小委員会）





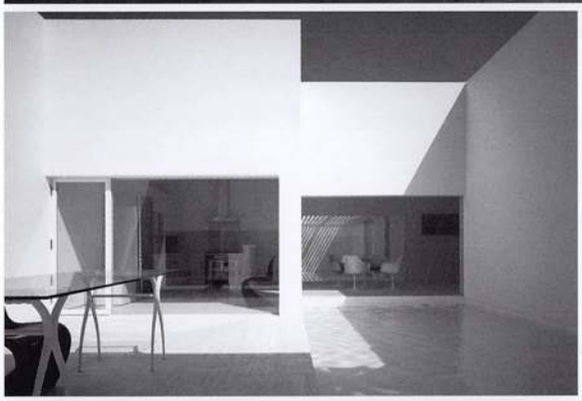
13回目の今年、寄せられた16の作品には、住まい手と環境への柔らかな眼差しを感じます。空間に込められた意図と情熱に共感を覚えると同時に、一層の奮起と勇気が呼び覚まされます。
会員各位の今後ますますのご活躍を期待しています。

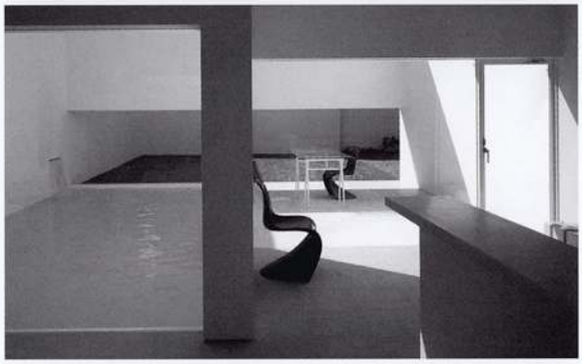
企画編集　作品作風小委員会

光のある家

大江泰輔　マニエラ建築設計事務所







敷地は、神戸市東灘区魚崎に位置し、前面道路をはさんで住吉川が流れている。この一帯は地震後に徐々に整備され、現在は川の両側に土手が設けられ、犬の散歩道やジョギングコースとなっていて、とてもいい環境となっている。
敷地形状は、少し変形した形になっており、川沿いの遊歩道に、4.5mの細長い間口で敷地は接していて、そこを通って広い敷地へと入っていく。その細長い通りが、南北に走る住吉川に対して垂直に伸びる軸線となっているため、建物は必然的にその軸を中心にして左右に配置され、また外観は四周住宅やマンションに囲まれているため水盤を中心に壁面で構成されたコートハウスとなっている。壁面の割合を増やしたことで、あらゆる壁が、光と影のキャンパスとなり、雑踏とした都市の中では感じることのできなくなった日の移り変わりや、風の動き、水盤に写りこむ空や月といった自然を建築という器を介して、五感で感じるということがコンセプトにある。
また、建物に囲まれた水盤は、光の反射により建物内を明るく照らし、天井や壁にゆらぎをもたらし移ろいを与えてくれる。

（大江泰輔）

■灘の家

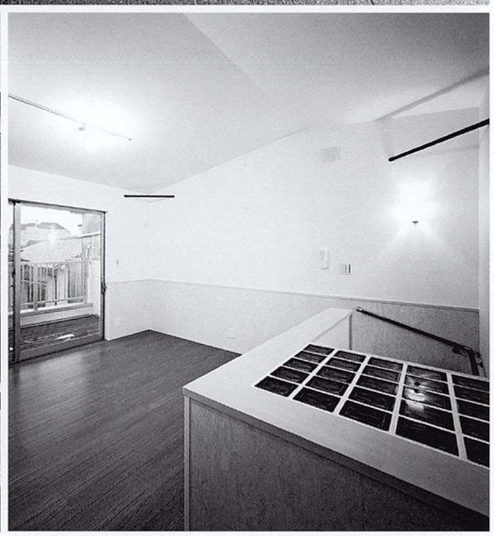
所 在 地　神戸市灘区
敷地面積　572.56㎡
建築面積　176.38㎡
延床面積　120.48㎡
構造規模　RC、1F
竣　　工　2004年3月
撮　　影　松村芳治

落ち着ける家

稲垣元宣·稲垣和江　イナガキケンチクケンキュウショ







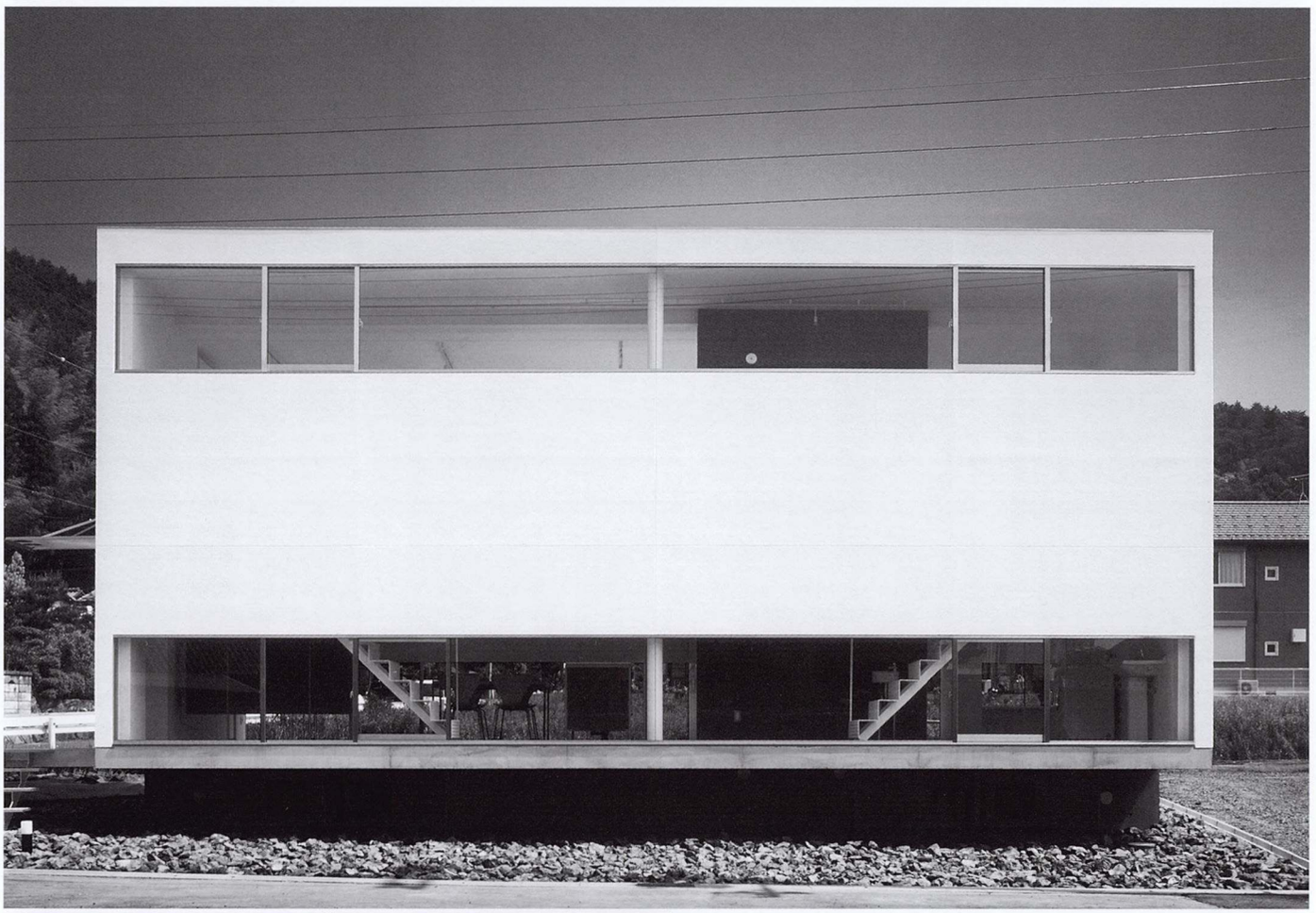
都市に建つ、バリアフリー住宅である。
間口約６m、奥行約12mの敷地内に、駐車スペース、エレベーター、車いす対応の水まわりが要求された。必要な機能、部屋数を確保するだけで面積がいっぱいとなり、吹抜けなどのゆとりをとることが難しい。また周辺も建て込んでおり、外部に視線の抜けるところがない。そこで小さな部分に着目して、愛着がもて、落ち着ける空間を演出するよう心がけた。
外観は左官や木製ルーバーで素材感を出し、足元には湿度によって姿を変化させるスナゴケを植栽した。床の御影石は黒をベースに「さくら」を散らしている。室内では階段踏み板を60mmの杉材とし、防火規定で木造らしさが表しにくい中にも素材感を残した。また既存住宅に使用されていたガラスブロックを、カウンターに再利用している。火打は手づくりの革製カバーで化粧されている。
隣地より地盤が1.2m低く、半地下状態の１階LDKとなったが、ストリップ階段からやわらかく光が入り、思いのほか明るい。夏すずしく、冬あたたかい快適空間となっている。
（稲垣元宣）

■osn project

所 在 地　大阪市旭区
施　　工　福徳建設産業
敷地面積　78.24㎡
建築面積　50.77㎡
延床面積　113.70㎡
構造規模　W、3F
竣　　工　2006年8月
撮　　影　宮本　淳

ワンボックス・ハウス–浮遊する白い箱–

森村政悦　森村政悦建築設計事務所





敷地は舞鶴市の郊外にあり、市街地から延びる主要幹線道路沿いに位置する。

住み手は育ち盛りの幼い子供３人を抱える20代の夫婦で、クライアントからは「ローコストであること」「どこにいても家族の雰囲気が感じられること」が求められた。そこで、これらの条件を満たすとともに、今後予想されるライフスタイルの変化にも対応できるよう、フレキシブルなワンボックス空間を提案した。

この住宅では、白いワンボックスを浮かす・切り取る・くりぬく操作によって積極的に自然を内部に取り込んでいる。

具体的には、高床式(浮かす)とすることで生まれる床下収納空間が空気層となり、床暖房とあいまって冬の冷え込みを和らげている。また、開口を広さではなく距離で確保した水平窓(切り取る)と、２階に配置した外部テラス(くりぬく)が１日を通じてその表情をかえながら十分な光と風を導き入れ、それら自然のエネルギーを最大限活かすことで、快適な室内空間を生み出している。

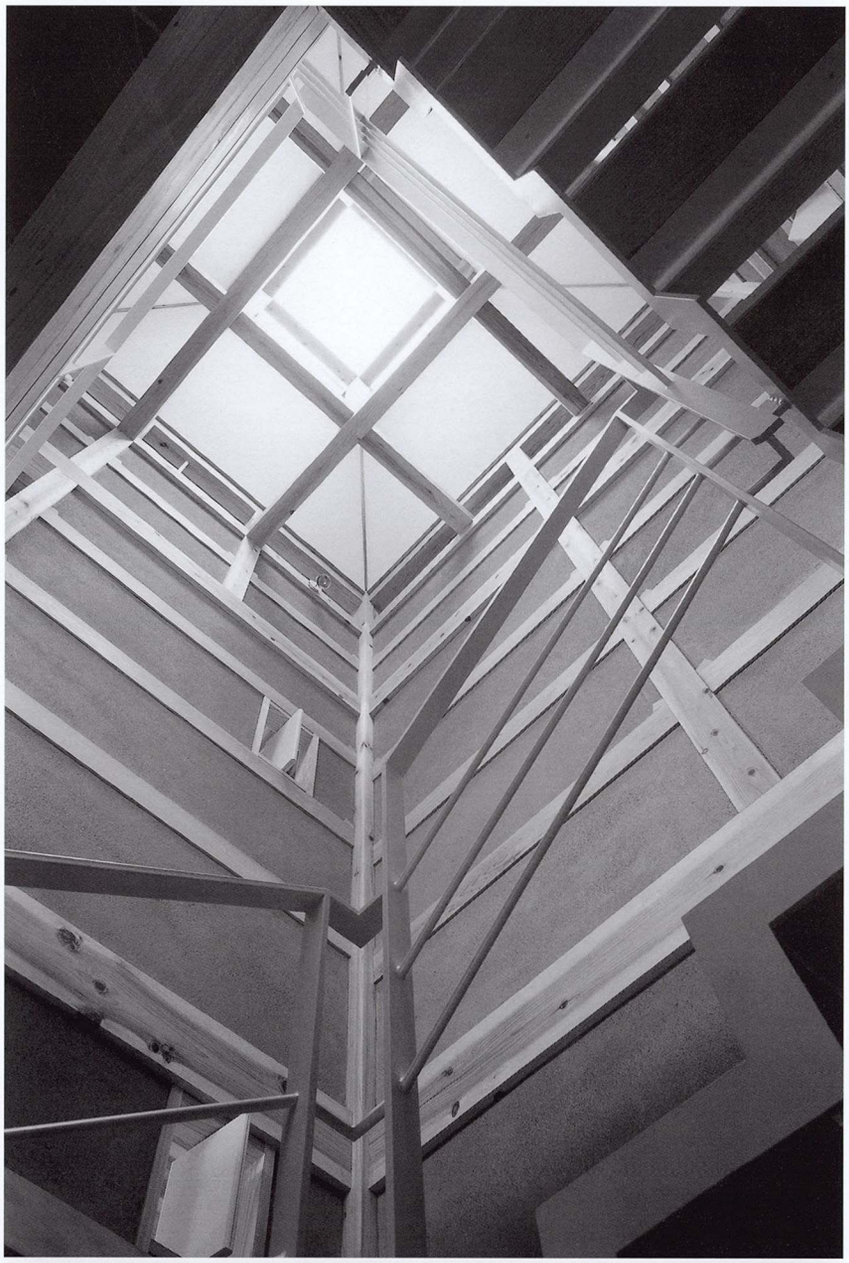
(森村政悦)

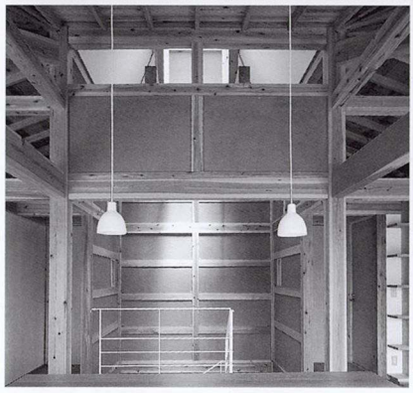
■東舞鶴の家

所 在 地　京都府舞鶴市
施　　工　金下建設
建築面積　60.74㎡
延床面積　97.78㎡
構造規模　S、2F
竣　　工　2005年5月
撮　　影　杉野　圭

大きな自然と交信するまちの住まい

新居照和 & ヴァサンティ　新居建築研究所







自然乾燥させた樹齢70年以上の杉材、土壁、吉野川の砂利といった地場材を生かした住宅である。
柱と貫でかご状に組む骨組の土壁は、外周と内周二つの正方形をつくり、入れ子状に囲んでいる。内側の正方形は、櫓（やぐら）が組まれ土とわらと砂を塗った大きな吹抜けの階段室空間である。
それを囲むように、1階は寝室、それぞれ夫婦の書斎と水廻り空間、2階は大きなテラスと眉山や街並が眺められる台所と広間空間、北面に子供室を配置する。
この櫓空間は1階と2階にドラマチックな連続性を与え、家族の繋がりを強く感じさせたり、空気が巡ったりする中心の場である。刻一刻と太陽の動きや空の変化を感じさせ、地面から大空へと風が抜ける住まいの軸空間となり、私達の感性に天と地の結びつきを呼び起こす。
構造は、筋交いを使わず、金物にもできるだけ頼らなく、土壁と、太い柱と貫でねばり強い住宅をつくる。伝統構法の知恵を生かす100年住宅を目指している。シックハウス対策も、機械換気設備に頼らず、自然換気の仕組みを生み出している。

（新居照和）

■下助任（しもすけとう）の家

所 在 地　徳島市下助任町
施　　工　アズマ建設
建築面積　78.63㎡
延床面積　144.52㎡
構造規模　W、2F
竣　　工　2006年4月
撮　　影　北田英治

くつろぎの時

村重保則　村重保則現代建築設計事務所





山口県岩国市、山陽道岩国IC近くに位置している。介護付有料老人ホームとデイサービス業務を行っている。クライアントからは、「入居者が満足できるゆとりある空間、ホテルのような雰囲気を」と言う要望であった。1階にデイサービス部門と重度入居者の居室を配し、中央部には管理・娯楽・食堂などの機能をまとめた。2階から4階は居室としている。名称の『ティエラ』はスペイン語で地球、大地、実家というような意味合いを持つ。入居者にくつろぎの時間を提供したいと語るクライアントにふさわしいネーミングではなかろうか。おおらかに弧を描く屋根が印象的な仕上がりとなり、地域のランドマーク的な存在となっている。

（村重保則）



■介護付有料老人ホーム ティエラ

所在地　山口県岩国市多田
施　工　勝井建設
建築面積　1,417.70㎡
延床面積　2,837.51㎡
構造規模　RC、4F
竣　工　2004年3月24日
撮　影　岡本公二

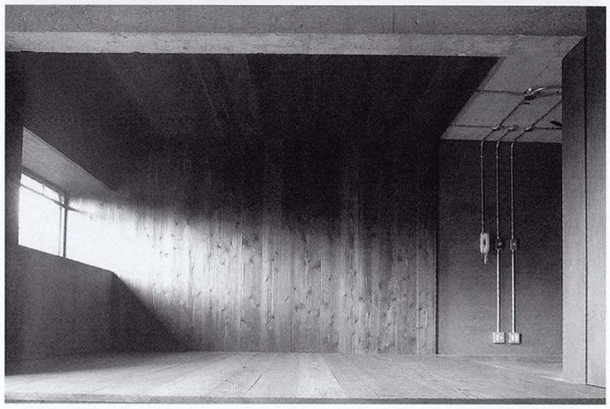
風景となる空間

池井　健+平尾和洋　VIDZ/ヴィズ建築設計事務所









築26年になるRC造分譲マンションの１住戸の改装である。施主である新婚夫婦はもとより、いずれ生まれてこの家で成長するであろう子供のために、生活の中における場面を風景としていつまでも心に残せるような空間をつくりたいと考えた。
そのために、空間の差異を身体感覚における親密さのスケールで捉え、既存仕上げを撤去したままの外部的な心地良さを持つ空間と、幅広で肉厚の杉板に囲まれた内部的な安心感を持つ空間の、性質の異なる２つを１つの部屋の中で対面させる構成をとった。
自分の居ない空間を風景として認識し、それとのコントラストによって自分の居る空間の心地良さもまた深く認識できるという効果を意図した。
竣工から１年程で、設計者の目論見どおり２人の間には可愛い女の子が生まれた。何十年後かにこの風景が彼女にとっての宝物となることで、この建築は完成を迎える。

（池井　健十平尾和洋）

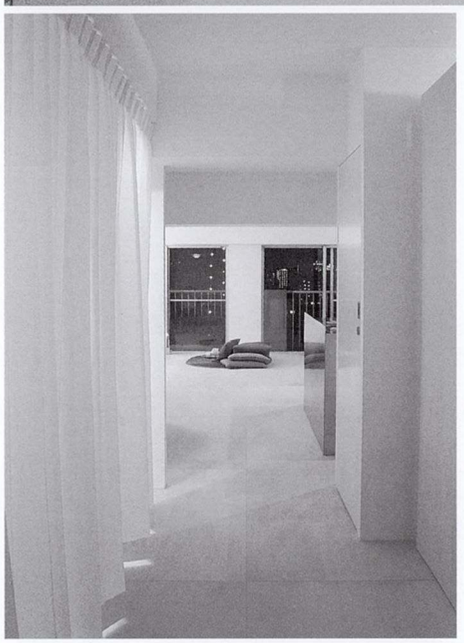
■A邸

所 在 地　愛知県名古屋市
施　　工　ヤマグチ
改装部分面積　49.0㎡
竣　　工　2004年11月
撮　　影　青山　深
　　池井　健（VIDZ建築設計事務所）

ない　をたす

岡﨑善久·三宅　純　岡﨑善久建築設計事務所





マンション一室のリフォームである。
単身者であるクライアントは、できるだけ広い部屋を要望された。また、多趣味な方で色々な情報を集め色々な要望があった。今住んでいる部屋の写真を見せていただき、良い点・悪い点を上げて頂いた。そこで、問題になったのはやはり多くの物をどう収納するかであった。
コンセプトは、「ない」ということ。生活をつくりだすのは、多くの物ではなく、住まい手の思いとその時々の感情である。この場は、それを受容する。空気の質・雰囲気・見えないもの(ないもの)、がその時々でたされ、流されていく。それを邪魔しないようなシンプルな構成を心掛け多くのものはどこかに消え隠され、残ったのは住まい手の思い…である。

(三宅　純)

■Re:1301

所 在 地　大阪市
施　　工　建築工事プロデュース
建築面積　80.68㎡
延床面積　80.68㎡
構造規模　SRC
竣　　工　2006年1月
撮　　影　三宅　純

異空間へのいざない

中尾勝悦　中尾綜合建築設計事務所





女性が中心となって働く、IT関連の自社ビル。
メインカラーを白とし、スタイリッシュで清潔感ある女性をイメージした建物です。
情報産業特有のセキュリティを重視し、光と精神の開放をテーマに空間構成を行いました。1階セミナーコーナーには、蹴込みを透かした階段を介して東側の上部開口から光が降りそそぎ、足元の水平スリットからは白い玉砂利による柔らかい反射光が入ります。
2階事務室は、仕事への集中と対面住宅への配慮を意図して、開口部をガラスブロックで遮断し、天井高3mで得られた上部の水平スリットは、空からの癒しと開放を期待しています。北面するこれらの要素は、青空・星空を採り入れた明るい作業空間を生み、夜は街の明かりとなります。
一歩足を踏み入れば、異空間。来訪するお客様も増え、皆様、気持ちよく就業されています。

（中尾勝悦＋池岡由美子）



■Bee Plus 新社屋

所 在 地　大阪市鶴見区
施　　工　桝本工務店
敷地面積　126.88㎡
建築面積　 95.48㎡
延床面積　174.84㎡
構造規模　S、2F
竣　　工　2006年6月
撮　　影　大川　彪（APA会員）

レトロとモダンの融合

岸　一　アトリエJIGSAW







房総「四季の蔵」は日本の伝統建築である「蔵」をテーマとし、人と環境が響き合う、懐かしい未来としてのドライブイン型複合施設である。千葉県君津市三直に位置し、田園風景と小高い山に囲まれた緑豊かな環境の中に有りながらも東京首都圏から車で30〜40分という利便性を持つ、魅力ある立地である。施設は農産物、海産物、レストラン、カフェ、雑貨、足湯および休憩所で構成され、それぞれが中央の中庭を囲うように分散配置されており、回遊性のある安全性の高いランドプランとしている。また、建築は全て木造平屋建てとし、ヒューマンで馴染みやすく飽きのこないデザインである。

それぞれの建築物は独立柱と並柱の構成となっており、切妻、寄棟によるシンプルな外観としている。

色彩計画については「和」の伝統色である白、黒、弁柄色を基調色とし、落ち着きと安心感のあるものにまとめあげており、また店内は木造平屋建による木組の架工美と石、土、紙を素材としたナチュラルなインテリアとを組合せることで、レトロとモダンが融合する空間を演出している。

近年の商業施設は機能と経済性を追求した無機質でクールな施設が乱立する中、房総四季の蔵のような建物は環境や景観および地域特性を生かしたものであり、ロハス的でゆとりと手作り感あふれる建築がこれからは生き残る時代になったと言える。この房総「四季の蔵」が地域のランドマークとなり、名勝となることを期待したい。

（岸　一）

■房総「四季の蔵」

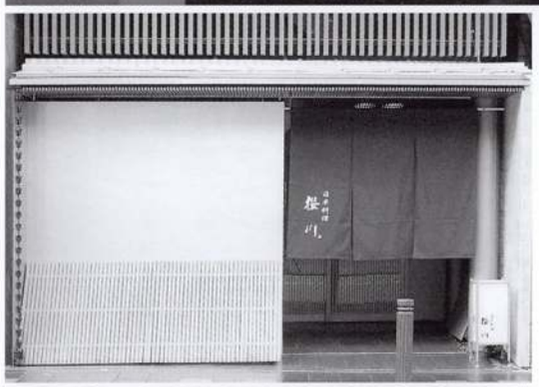
所 在 地　千葉県君津市三直
施　　工　鉄建建設
敷地面積　14,088.91㎡
総床面積　1,995.75㎡
竣　　工　2006年5月
撮　　影　山本会里

現代的な和の設え

吉村篤一+建築環境研究所



3階客室





5階客室

築後約35年のRC造地下1階地上6階建ての雑居ビルを、全面的に改装して日本料理店としたものである。1階は玄関・待合と事務所、2階は厨房、3～6階が各階異ったデザインの客席となっている。

3階は朱塗りのカウンターに銀もみ紙張りの壁というモダンなデザインの席、4階は椅子席の和風の個室、5階は白木のカウンターのある本格的なカウンター割烹、6階は10畳の座敷、というように各階趣の異った部屋があり、客の好みや気分によって部屋を選べるようになっている。また、エレベーターホールもその階の客席に見合ったデザインの“和”の設えがなされており、客席へ導くための雰囲気作りに工夫を凝らしている。なお5、6階の客席の窓からは祇園白川通りを望むことができ、桜の季節にはすばらしい景色を眺めながら料理を楽しむことができる。

（吉村篤一）

■日本料理 祇園櫻川

所在地　京都市東山区花見小路通新橋下ル
施　工　三和建設
建築面積　56.50㎡
延床面積　342.06㎡
構造規模　RC、増築外部階段S、6F、B1
竣　工　2006年3月
撮　影　大島勝寛

地域風景に参加する

上谷重男　U建築企画室





門の間から垣間見ることが出来る樹木の彩り、塀の上で所在なげに陽なたぼっこをしている三毛猫、どこからともなく漂ってくる金木犀の香が心を癒してくれる。
どこか時代の風潮からとり残されたような（漆喰壁）の建築が続く確かな空間を持った露地の町並みを過ぎると、日本のどこにもある田畑を潰し造成された平板な住宅地が私を迎えてくれた。
この何の変哲もない住宅地の一隅の（風景）づくりに、この地で育つ子供たちの（心象風景）づくりに参加できたならとの願いを込めて、この建築を計画した。

（上谷重男）

■京都・城陽の家

所 在 地　京都府城陽市
施　　工　久寿米木工務店
敷地面積　310.47㎡
建築面積　121.91㎡
延床面積　204.25㎡
構造規模　W、2F
竣　　工　2005年9月
撮　　影　U建築企画室

誘い（ふたたび動き出すために…）

塚口明洋　塚口明洋建築研究室







病院について
脳血管疾患や骨折などから、家庭復帰をめざす人たちのための施設である。機能を満たす心地よい空間がある形を考えた。外に開き、内を通して、形を見る。視点を変えれば、異なるつながりを見せる。人が動く空間、人の動きをあらわす建築。
日常として過ごすリハビリの時間の中にそのようなシーンがあればよいと思う。

3つの円とその隙間
円筒を並べて庇を架ける。分かりやすい成り立ち。庇を抜けると、光がさすホールへ滑らかにつながる。そこには一時のよどみがある。吹き溜まりのような、流れの中の部分。
ホールから病棟、管理棟へと分かれる。トップライトの下、海底洞窟のように口を開けた断面。塊として存在した円筒の表皮をめくり進む。未開の地中大陸をめざして。

つながる室、めぐる廊下
一つのベッドに一つの窓。そこで過ごす人が自由に光を入れ、風を通す。
4床室も同じ、外に向かって開く。廊下側に開けば、サービスステーションに光が広がる。

まず第一に、病院は復帰をめざすところである。というのが、施主の認識であり、建築への要望である。そこで過ごす時間の中に、楽しみを見出せたらよい。突き当りのない廊下、移りゆく風景、そこには自ら動き出すためのしかけがある。誘いの建築である。

（塚口明之）

■巽今宮病院

所 在 地　箕面市今宮3丁目
施　　工　松村組
建築面積　1,689.87㎡
延床面積　4,477.79㎡
構造規模　S、3F
竣　　工　2006年2月
撮　　影　清水向山（エスエス大阪）

本と遊び学ぶ

美濃吉昭　エーイー建築設計事務所





児童の情操教育を図書館を中心に考える私立学園READERS & LEADERS ACADEMY。5歳から10歳までの子供達が自然体で自由に、創造的な感性を養うための「場と空間」という難しい課題のインテリアです。学園生活は、通常の幼稚園と違い、英語図書室と教室、国語図書室と隣接の小部屋教室、工作絵画教室、パソコン教室、自習教室、ジム遊戯室、料理教室兼食堂の専門教室を時間割りで移動する、楽しい学園です。子供達のクラブハウスとして、図書室には静かなクラシックのBGMが流れていますが、やはり、ジムと芝生の庭は底抜けに賑やかで、子供達が走り廻っています。課題への答えは、何年か先の話で、子供達が成人した頃になるのでしょう。

（美濃吉昭）

■READERS & LEADERS ACADMY

所在地　韓国慶尚北道大邱市
協力事務所　KIDAN建築士事務所
施　工　松屋建設
建築面積　320㎡
延床面積　1,098㎡
構造規模　RC、4F
竣　工　2006年2月
撮　影　美濃吉昭

土蔵と土塀・植栽で風景をつくる

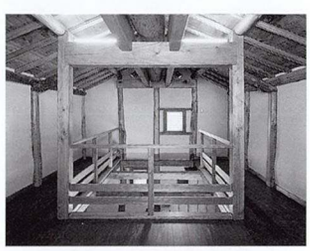
長瀬博一　長瀬建築研究所





京都市内北方、近郊農家の土蔵・門扉・土塀・植栽の整備である。
江戸後期に築造された蔵・塀共に漆喰や表土も剥落し、塀瓦も傷みが著しかった。置屋根の蔵は平屋使いで上部は小屋裏物入の扱いであったのを一新、収納階段新設の２階建てとした。
蟻害を受けていた一部の柱及び地棟は、蟻害対策と構造補強を施した。即ち中央部に地棟補強材を受ける天秤梁と支柱を設け、半間毎の外周柱が中間部も足元廻りも全く横繋材のない通柱形式だったので、２階各床高部分に繋材を挿入。結果、上下階共にギャラリーにも使っていただける仕上りとなった。
道路に面した50m近い土塀は石積部の旧状を生かし、何度も塗込みを重ねた土塀は油土で仕上げ耐久性を企り、瓦はリズミカルな無地鎌を使用。
新設の門扉、新生の土蔵、北山杉等が相まって表構えを形成し、近隣の家並の中、凛とした風景を創り出している。

（長瀬博一）



■西賀茂の家

所在地　京都市北区西賀茂鎮守庵町
施　工　土塀・土蔵（外）上野工務店
　　土蔵（内）梅原工務店
延床面積　40.76㎡
竣　工　2006年8月
撮　影　奥田耕作（フォトアクティブ）

住まい創りは永いおつき合い

河南重雄　河南建築設計事務所





以前から、私が設計を行った住宅を見学して頂いていた若いカップルから遠くにもかかわらず仕事を依頼された。雑談で“ギターが趣味です”と小耳に挟んでいたのだが、初回の打合せで防音仕様のギター室と平面に描いておいたのが気に入られた。（彼女の方はシブシブであったのだが…）若いカップルだからこそ、日常生活に不満の出ない、堅実な家を目指した。毎日使う食卓・椅子は家具店に数回同行し納得の品を選択して頂いた。現場には嫌がられる程、通いましたが施工店、職人さん達も完成時には、それぞれ手応えを感じられた様です。住まい勝手優先の、普段の家を創りたかっただけなのですが…

引渡時にはニコニコになった彼女に使用した大黒柱片に“未完の家”ではなく“未歓の家”と墨描きし贈った。

（河南重雄）

■亀岡の家

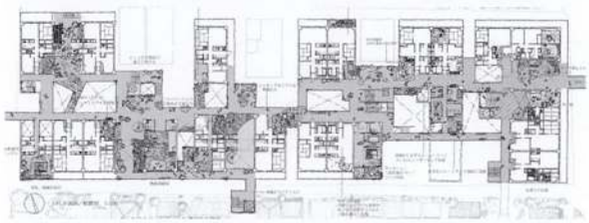
所 在 地　京都府亀岡市余部町
施　　工　トヨヒロ建設
敷地面積　265.00㎡
建築面積　99.09㎡
延床面積　96.00㎡
構造規模　W、1F
竣　　工　2006年5月
撮　　影　河南重雄

共有する廊下

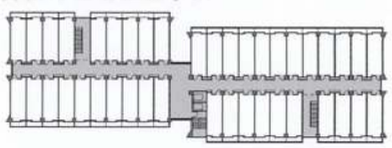
東井嘉信　大林組本店一級建築士事務所



■「いまいるばしょで　いまあるもので」　東京都建築士会第35回建築設計競技（2000）：金賞

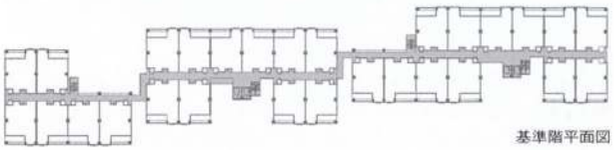


■公務員宿舎枚方住宅整備事業



基準階平面図

■大阪府警察寝屋川待機宿舎建替整備等事業（2010年竣工予定）



基準階平面図

昨年の春、長男の誕生の日に街に桜を植樹する、という幸運に恵まれた。週末になると「そら」という名を冠す桜の水遣りに出かけ、開花を待ち望む日々が始まる。隣の桜のお姉さんとも話がはずむ様になったこの春、桜は美しい花を咲かせた。この一年は、枯らしてはいけないという責任感と、街を美しくするという期待感が高まり、私の中に市民の自覚が芽生えた。一本の桜が、私のライフスタイルや社会への意識を変えると共に、新しい友人も紹介してくれたのです。この桜の様な空間づくり。それが私の建築観です。

この桜は社会が所有する私の桜です。言い換えると私と社会が「共有する」桜です。街の中に「自分のものだ」と意識する共有物があると、自発的にそれを管理し、そこから愛着心・交流が育まれます。ここに、集合住宅の廊下の共有性を高める３作品を紹介します。１作は既存ビル郡を共有廊下で連結して居住空間へとコンバージョンする提案、他の２作は、PFI集合住宅で、経済合理性を高めながら界隈性のある街路の様な廊下を創る作品です。

飾りすぎず、居住者自らが環境を創りこんでいく手掛かりとなる空間づくり。願わくば、そこに関わる人々のライフスタイルや意識に働きかける仕掛けづくり。　あの桜の様な。それが私の空間作法です。

（東井嘉信）

■公務員宿舎枚方住宅整備事業

所 在 地　大阪府枚方市禁野本町
施　　工　大林組大阪本店
敷地面積　19,219㎡
建築面積　4,730㎡
延床面積　23,734㎡
構造規模　RC、10F
竣　　工　2006年2月
撮　　影　福永一夫

「建築と社会」誌

特集一覧●1985～2006

大正6年3月に誕生した日本建築協会（当時・関西建築協会）の、機関誌は大正6年9月に「関西建築協会雑誌」と題して創刊された。大正8年に「日本建築協会雑誌」、さらに1年後には「建築と社会」と改題し、今日に至っている。

取り上げてきた特集テーマは下記のとおりで、バックナンバー購入希望は、日本建築協会事務局（TEL 06-6946-6981、FAX 06-6946-6984）まで。販売価格は1200円（送料・消費税含）。

号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1985 vol.66	●大阪湾物語＊	●東海の現在と近未来	●自由様式への道―建築家安井武雄 ●建築物の基礎を考える	●情報化をめぐる建築・都市事情	●ホール―それが生みだす文化―	●建物の表情―最近の外壁材料	●大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出 ●神戸研究学園都市	●都市と健康・スポーツ	●接合―人体と建築にみる― ●日建設計作品＊	●村野藤吾の一断章 ●伊勢湾をめぐる東海	●第32回青年技術者
1986 vol.67	●これからの住空間―都市型集合住宅にみる	●屋根―そのデザインと素材	●現代デザイン―ポストモダニズム10年 ●これからの防水工法	●インテリジェントビルの建築・設備計画	●自治体営繕と公共建築	●建築防災と法 ●大阪市庁舎（第2期）	●21世紀の住宅と設備	●開発―その創造的仕掛けの鍵をもとめて― ●ツイン21	●CAD―その応用と展開	●オフィス空間の構成	●第33回青年技術者	●インテリア・イクステンションとリニューアル
1987 vol.68	●入浴物語	●腐食	●創立70周年記念号	●躍動する東海へ	●貯蔵・保管施設 ●大阪府立体育会館	●室内の仕上床	●駅	●行政建築家の可能性	●シティホテルの設備	●宝塚の街づくり＊	●建物と町並みの接点 ●昭和設計作品集	●第34回青年技術者
1988 vol.69	●ホテル物語	●軟弱地盤と基礎 ●文化と伝統―東海からの報告	●設備におけるLCCとリフレッシュ ●東畑建築事務所作品集	●建物の外装リフレッシュ＊	●都心居住	●中国地方の展望とひろしまのまちなみ	●21世紀への照明＊	●制振＊	●超高層住宅を考える	●集合住宅のリフレッシュ＊ ●大阪府営善	●第35回青年技術者 ●800号記念＊	●讀賣テレビ
1989 vol.70	●夢をのせる輸送設備	●リゾート事情 ●竹中工務店創立90周年記念	●色の復権 ●東海の新建築と伝統技術＊	●省力化のための材料・工法	●まちづくりと法	●博覧会とまちづくり	●都市環境創造と設備I	●建築とアート	●構造の省力化 ●鹿島建設大阪支店建築設計部作品集	●都市環境創造と設備II ●ユーザー参加のハウジング	●第36回青年技術者	●最近の博覧会パビリオン
1990 vol.71	●商品化住宅のデザイン＊	●ニュータウン・ルネサンス	●東海の都市景観 ●佐賀市文化会館＊	●スケール感	●プレハブ住宅技術の現在と未来	●国際花と緑の博覧会	●建築家のための設備知識―中規模オフィスビルによるケーススタディー	●高強度化―設計の多様化をめざして―＊	●やわらかな住宅管理・ユーザーの役割	●都市のナイス・プレイス ●兵庫県営繕の歩み	●第37回青年技術者 ●和歌山県の展望と景観＊	●高級感―建物の顔・感性の時代を迎えての外装材
1991 vol.72	●新しい都市空間づくり―I―	●オフィス・プレジャー ●新しい都市空間づくり―II― ●建築の風景	●東海支部復活30周年記念	●大阪東京海上ビルディング	●今、京都 ●建築家のための設備知識―複合商業ビルによるケーススタディー	●建築と土木 ●毎日放送本社ビル ●近畿地方建設局営繕部	●一般号＊	●建築をめぐるトラブルとその解決 ●建設現場のイメージアップ作戦	●空間のアイデンティティ ●きんでん写真集 ●大建設計40周年	●自治体住宅政策への提言 ●大林組創業100年記念	●建築と土木―構造技術の世界― ●第38回青年技術者	●スリムでタフなコンクリート ●21世紀の住まいを考えるシンポジウム
1992 vol.73	●夢物語―人がかわる、まちがかわる―	●こだわりのインテリア ●近畿の郵政建築15年の歩み	●建築とデザイン―東海支部―＊	●建築家のための設備知識―集合高層住宅の設備システム―	●地球環境時代の建築	●街創り、住まい創り―住宅・都市整備公団関西支社10周年―	●木構造を使ってみませんか―集成材による構造―＊	●接着―建築分野への限りなき可能性	●中国地方の町並みと建築家の「語り、夢、作品」＊	●屋台―仮設の魅力に学ぶ― ●ハウジングのメインストリームを探る	●いま建築教育に何が期待されているか	●京のかたちと色
1993 vol.74	●第38回青年技術者 ●東畑建築事務所創立60周年記念作品集	●大阪府営繕	●東海の美術館・博物館	●市民劇場の舞台設備	●環境―限りある自然と建築とのかかわり	●都市のスカイライン	●映画の中のインテリア ●けいはんなプラザ・住友ホール	●建築の再生―構造技術の役割― ●大阪市営繕	●国際的パートナーシップの可能性	●福祉のまちづくり	●都市型住宅再考	●第40回青年技術者 ●環境―人にやさしい空間創造をめざして
1994 vol.75	●コピー文化の新時代 ●広島の街創りアジア競技大会	●九州のインスタレーションと貌	●伊勢・神宮式年遷宮と神宮界隈＊	●建築のエネルギーシステム	●明日に向かって―会員作品＊	●いま、医療施設は	●住空間における居どころへの視点	●まちなかの看板 ●竹中工務店の集合住宅	●水と建築 ●日本建築総合試験所	●建築設備のCGシミュレーション ●村野、森建築事務所	●構造美―建築の中の美 ●集合住宅団地リニューアル	●第41回青年技術者 ●関西国際空港
1995 vol.76	●光がつくる風合の世界＊	●音―騒音から操音/創音へ	●飛騨・美濃―まちの活性化と地方文化＊	●トイレから見た都市文化	●トイレ空間	●接合 ●コスモタワー	●ユニバーサルデザインとは	●私の空間作法―会員作品	●新しい「都市・建築」の視点＊	●建築構造と社会の接点 ●日建設計＊	●ライフラインと建築設備＊	●第42回青年技術者 ●滋賀県建築課
1996 vol.77	●阪神大震災から学ぶ＊	●大阪府住宅供給公社創立30周年記念＊	●遠江―その地方振興と文化＊	●立体駐車場設備 ●大建設計	●災害！非常時に生きる法体系 ●OAPタワーズ	●いま、プールがおもしろい	●住まいの未来像	●マルチメディアがつくる世界	●キーコンセプトの新時代	●最新の大規模スポーツ競技施設の設備	●私の空間作法'96 ●九州の元気 ●りんくうの3作品	●第43回青年技術者 ●近畿地建営繕部
1997 vol.78	●建築のロングライフ化をめざして	●鉄ものがたり＊	●東海支部会員作品 ●金沢・加賀―風土・文化とまちなみ・建築＊	●創立80周年記念/建築と私と社会―80人の眼―＊	●木造建築物の伝統技術とその将来	●住む空間の復興―法・制度の運用と新たな展開へ― ●住都公団関西支社	●素材の不思議 ●大阪ドーム	●新エネルギー ●住宅・都市整備公団改革への提言	●クロスワード都市OSAKA＊	●モザイク都市の住むかたち ●昭和設計40周年	●私の空間作法―会員作品―	●第44回青年技術者 ●京都駅ビル
1998 vol.79	●新しいまちづくりの予感 ●東畑建築事務所創立65周年	●Concrete ●九州とわたし、そして建築	●東海支部会員作品 ●信州―諏訪とその周辺―	●街並みの演出―最近の外構材料	●生活環境の安全・安心	●地球環境保全と建築	●心と体を元気にするインテリア	●建築設備―ビルメンテナンスの立場から	●建築への証言'98―21世紀に向けて	●ゆれをとめる―たえる技術からかわす技術へ	●私の空間作法 ●2001年の医療施設	●第45回青年技術者 ●駅とともに歩んだ阪西日本の12年
1999 vol.80	●“らしさ”のデザイン ●建築を綴じる小粋なモノの仕掛人	●大阪市都市整備局	●東海支部会員作品'99北信濃―街並み修景と地域文化の再構築	●都市のパブリック	●関西建築界の流れと東畑謙三の足跡をたどる	●大阪城天守閣平成の大改修	●改正建築基準法―まちづくり・すまいづくりへの展開―	●私の目でみた環境問題	●アーバンインテリア―都市空間としてのインテリア	●木とともに	●私の空間作法	●第46回青年技術者
2000 vol.81	●21世紀のデザインの動向を見る ●安井建築設計事務所創業75周年	●中国支部―しまなみ海道と中国地方の街づくり―	●東海支部会員作品2000 ●越中・富山―地域文化の振興と新たな施設づくりの流れ	●こころを癒す環境デザイン	●測る―測定方法と測定結果が意味するもの―	●スケルトン&インフィル	●改正建築基準法―パートII―	●100年後へのメッセージ ●日建設計創業100周年	●来世紀に引き継ぐ―わざ、もの、こころ―	●時間	●私の空間作法―会員作品― ●21世紀の高齢者の居住環境	●第47回青年技術者
2001 vol.82	●エヌ・ティ・ティファシリティーズ	●21世紀の建築設計教育	●東海支部会員作品 ●岐阜・大垣	●1T社会におけるきずな	●自然素材をめぐる「もの・わざ・ひと」	●成熟社会をささえるまちづくり	●現代の日本の空間・文化を探る	●環境―近未来に向けて今できること― ●大建設計―作品特集1996～2001―	●建築の力都市の力	●緊張 ●都市基盤整備公団関西支社	●私の空間作法―会員作品―	●第48回青年技術者 ●NHK大阪放送会館・大阪歴史博物館＊
2002 vol.83	●国土交通省近畿地方整備局営繕部＊	●再生・リサイクル	●東海支部会員作品 ●愛知・名古屋	●生活環境の安全・安心―パート2―	●塗装のいろいろ	●都市再生に向けた建築基準法集団規定のあり方	●いま、インテリアデザインは ●添町リバープレイス	●建築をささえるセンサー	●建築とボランティア	●時を超えて～サステナブルエンジニアリングの現在～	●私の空間作法―会員作品―	●第49回青年技術者 ●大阪市中央公会堂
2003 vol.84	●東畑建築事務所創立70周年	●九州の地域づくり・まちづくり	●東海支部会員作品2003 ●愛知・名古屋―この地の文化・芸術と建築・街づくりを考える―	●サスティナビリティ～次世代に引き継ぐ都市・建築・暮らしのデザイン～	●建築と五感	●都市計画法及び建築基準法等の改正	●コンバージョン―インテリアから発信するまちなみ―	●介護と建築・設備	●建築とノスタルジー～建築の主観的価値について～	●力と楽しくつき合う方法	●私の空間作法―会員作品―	●第50回青年技術者＋青年技術者顕彰50年
2004 vol.85	●大阪市住宅局	●都市緑化	●東海支部会員作品 ●愛・地球博＊	●省リスクな「まち再生」＊	●リニューアルの技	●地域住民主体のまちづくりと支援制度	●Product Design＋1	●銭湯～心地よさを求めて～	●建築家とは何か	●巨大地震にそなえて	●私の空間作法―会員作品―	●第51回青年技術者
2005 vol.86	●震災から10年	●「健やか」 ●長崎医療センター	●東海支部会員作品2005 ●東海における施設づくりへの新たな試み	●建築の経済化	●住まい方の変化	●人工栽培	●次世代に伝える「木」の建築 ●「建築と社会」1000号記念	●改正建築基準法と景観緑三法	●火災から守る	●構造の過去から未来へ＊	●私の空間作法―会員作品―	●第52回青年技術者
2006 vol.87	●都市環境デザインと参加のまちづくり	●「地方空港の時代」～まちと共存する空港づくり～	●東海支部会員作品2006＋東海支部特集3部作＊	●都市再生の本質～光と影のはざまで～	●変容する家族形態とあたらしいライフスタイル	●身近な省エネルギー～エネルギーをたくわえ、有効利用する～	●設計図が伝えるもの	●建築物の安全・安心＊	●第53回青年技術者	●「セキュリティ」	●もしも…～構造が未来へつなぐ夢～	●私の空間作法―会員作品―

＊は欠号

コージェネの実施例と試算

木村紀雄
大阪ガス㈱エネルギー事業部都市圏エネルギー営業部

全国自治体で初めてESCO事業が実施された病院にて、省エネルギー設備の核としてコージェネレーションシステム（以後CGS）を導入した。

ここではCGSの導入事例と省エネルギー試算について述べる。

建物・設備概要

(1) 建物概要

今回ESCO事業が導入された病院の建物概要を以下に示す。

建 物 名	大阪府立母子保健総合医療センター
建物場所	大阪府和泉市室堂町840
延床面積	40,164㎡
竣　工	1981年
設備容量	ガス吸収冷温水機（計2050RT）、 ガスボイラー（3.0t/h×2） 電力デマンド2200kW
光熱水費	3.33億円 （電気1.53億：ガス0.99億：上下水道0.81億）

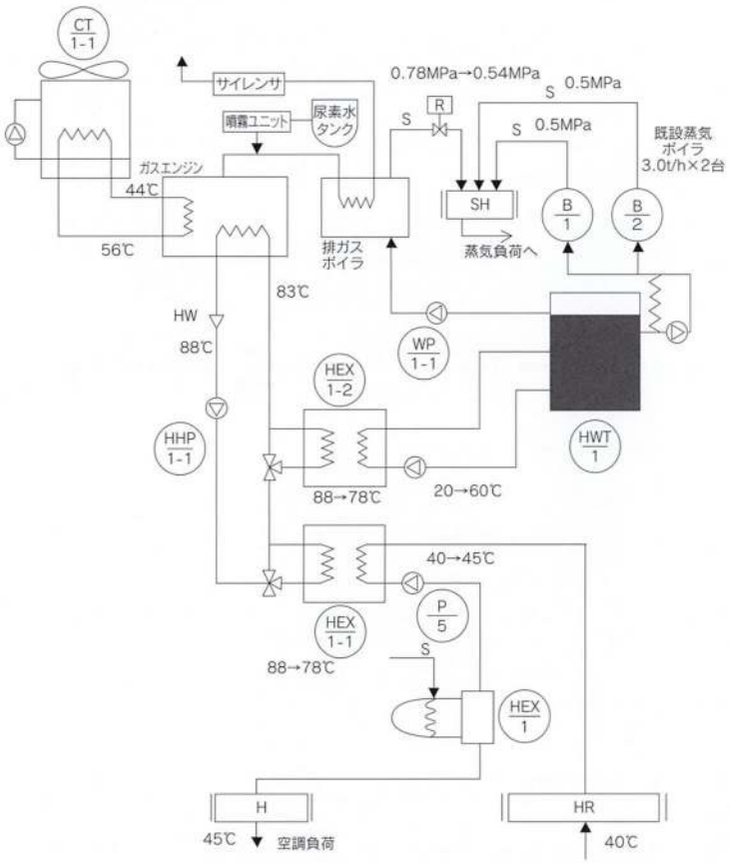
(2) CGS概要

今回採用したCGSの仕様は、以下の通り。

メーカー	イエンバッハ
発電出力	730kW
発電効率	38.5%
排熱回収量	蒸気　0.605t/h　　温水　387kW

機種の容量は、病院内の熱需要よりCGSの排熱回収量が小さくなるよう（排熱を捨てないように）に選定した。

CGS系統図



導入したCGSの特に優れている点

①省エネルギー性

・本機は、同規模クラスで最高の発電効率を有する希薄燃焼ガスエンジンによるCGSである。

・蒸気は厨房、オートクレーブ、空調機加湿に使用し、コージェネの発生蒸気は病院内の蒸気負荷よりも小さく、捨てることなく使用する。

・温水はボイラ給水加熱と暖房負荷（病院では夏期でも再熱のための温水負荷がある）を利用しており、ほとんど捨てていない。

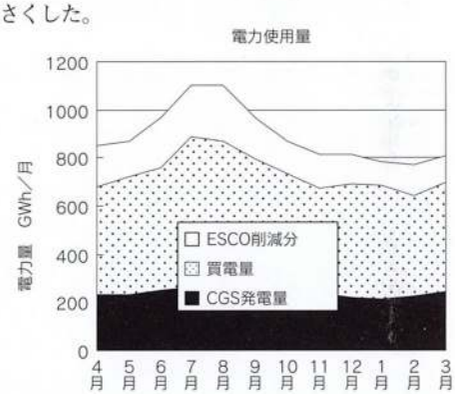
②環境保全性

・ガスエンジンからの排気は、尿素水脱硝より低Nox化を図った。

・ばいじんについては、都市ガスの使用により影響無し。

・コージェネレーション本体はパッケージタイプとし、屋内設置し、さらに室内に吸音材を施工することで騒音を低く抑えた。また、冷却塔は超低騒音タイプを採用した。

・コージェネレーション本体と基礎との間に防振装置を設置し、振動も可能な限り小さくした。



病院内の約1/3の電力需要をCGSのガスエンジンによる発電でまかない、その排熱を蒸気は病院内の蒸気用途に、温水は給湯加熱と暖房用して利用し、省エネ、省コストを実現している。

CGS導入による省エネ率の試算と実績を、以下に示す。

項目	計画値	平成14年	平成15年
熱源更新	9.7%	9.3%	9.1%
ファンINV	1.5%	1.9%	2.0%
ポンプINV	5.1%	4.6%	4.2%
CGS	3.8%	4.9%	5.0%
蒸気ライン断熱、統合	3.0%		
照明器具	1.6%	2.4%	2.4%
合計	24.8%	23.4%	22.9%

CGSはESCOプロジェクトの省エネ率23.4%の内訳約5.0ポイントを占め、省エネシステムとして大きく寄与している。

（きむら　のりお）

京都市における建物の高さとデザイン、屋外広告物の規制の見直し

石村陸貴
京都市都市計画局都市景観部景観企画課

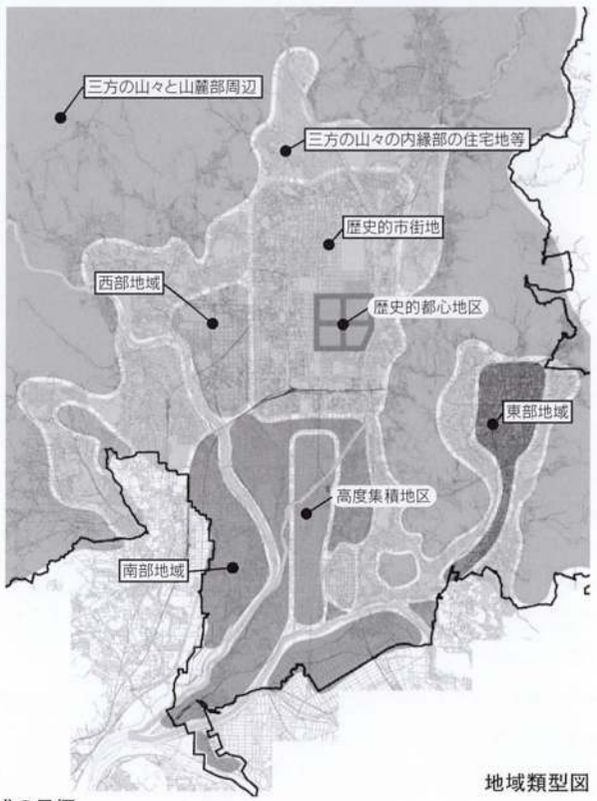
京都の優れた景観の保全・再生に向けて

京都市は、三方を取り囲むなだらかな山並みと、市街地を流れる鴨川や桂川などの豊かな自然の中で、1200年を超える悠久の歴史を積み重ねてきた都市であり、世界遺産をはじめとする数多くの歴史的遺産と風情ある町並みとが融合し、京都らしい美しい景観を育んできた。

しかし高度成長期以降、とりわけバブル経済期における都市開発の流れの中、行政、市民等による様々な保全・再生の努力にもかかわらず、京都らしい優れた景観が変容し続けている。

京都市では、こうした状況を踏まえ、昨年７月に「時を超え光り輝く京都の景観づくり審議会」を設置し、「歴史都市・京都にふさわしい景観のあり方」について諮問した。同審議会では本年11月14日に、10回に及ぶ審議や公開シンポジウム等を踏まえた「最終答申」が提出された。

京都市では、これらの答申等を基にして、「快適で、美しい、世界に誇る都市空間」の形成を目指し、建物の高さやデザイン、屋外広告物に関する規制について根本的に見直す素案を取りまとめた。



地域類型図

地区の特性に応じた一体的な規制・誘導の素案

今回の見直しは、歴史都市・京都にふさわしい優れた景観づくり

表1　地区の景観形成の目標

地域	地区		目標
三方の山々と山麓部周辺	①世界遺産周辺		歴史的環境を保全する
	②歴史的建造物・景勝地周辺（世界遺産周辺を除く）		自然景観と調和した歴史的環境を保全する 優れた眺望景観や借景を保全する
	③住宅市街地	住宅地	山並みと調和した歴史的環境を保全する
		生活幹線道路沿道	良好な居住環境の保全や山並み景観との調和を図る
三方の山々の内縁部の住宅地等	①歴史資産周辺		歴史資産周辺の歴史的環境の保全
	②住宅市街地	住宅地	三方の山並み景観に配慮した良好な居住環境を保全する
		生活幹線道路沿道	良好な居住環境との調和を図る
	③幹線道路沿道		低層の住宅地に配慮した沿道景観の形成を図る
	④水辺空間		水辺空間や緑地と一体となった良好な景観を保全する
	⑤商業地等		地域拠点における商業・業務機能や学術研究機能の維持・増進を図る
歴史的市街地	①歴史的都心地区	幹線道路沿道地区（田の字地区）	隣接する職住共存地区との調和を図るとともに、京都にふさわしい現代的な沿道景観を形成する
		職住共存地区	京都らしい歴史的な町並み景観と調和した、職と住が適切に共存する快適な集住空間を形成する
	②職住共存市街地		京都らしい歴史的な町並み景観と、都市としての活力が調和した職住共存の中低層の市街地空間を形成する
	③南部歴史的市街地		伏見らしい歴史的な町並み景観と、都市としての活力が調和した職住共存の快適な中低層の集住空間を形成する。町並み景観に配慮しつつ、商業機能の維持・増進を図る
	④水辺空間や緑地空間周辺	小河川沿岸	水辺空間や緑地と一体となった良好な景観を保全する
		鴨川西岸の市街地	鴨川の良好な水辺空間と、鴨川東岸から西岸を見た良好な景観を形成する
		鴨東地域	水辺空間や緑地空間と歴史的建造物が一体となった、京都の風情ある景観を形成する
	⑤世界遺産等の周辺		世界遺産等の周辺の良好な環境を保全する
	⑥幹線道路沿道		隣接する歴史的な町並みに配慮した新たな沿道景観を創造する
	⑦西部・南部市街地		近接する明治期からの市街地と調和した新しい町並み景観と、コミュニティ豊かな都市空間を形成する
	⑧商業地等		都市拠点・地域拠点における商業・業務機能等の維持・増進を図る
西部地域	①工業地		ものづくり都市としての工業機能の維持・増進を図るとともに、住工が共生できる環境の形成を図る
	②住宅地		新しい町並み景観と、コミュニティ豊かな都市空間を形成する
南部地域	①高度集積地区		（「高度集積地区整備ガイドライン」の見直しの結果を踏まえて設定）
	②工業地		ものづくり都市としての工業機能の維持・増進を図る
	③住宅市街地		良好な住環境を保全し、形成する
	④商業地等		町並み景観に配慮しつつ、商業機能の維持・増進を図る
東部地域	①住宅市街地		良好な住環境を保全し、形成する
	②商業地等		商業・業務機能の維持・増進を図る

を進めていくため、都市景観の重要な構成要素である建物の高さやデザイン、屋外広告物について、地域ごとの特性に合わせて一体的な整備を図っていこうとするものである。

「地域類型図」（**図1**）は、土地の特性や土地利用上の特性、そしてその地域の景観の特性を踏まえて区分したものである。**表1**は、それぞれ区分した地域をさらにきめ細かく分け、それぞれの地区の景観形成の目標を示したものである。

(1) 高さ規制の見直し

●基本的な考え方

建物の高さは、都市全体の景観形成に大きな影響を及ぼすものであり、地域の特性に応じたきめ細かな規制・誘導が不可欠である。特に、三方をなだらかな山々で囲まれた京都の盆地の風土では、これらの山並みに配慮し、都心部から三方の山裾にいくにしたがって次第に建物の高さが低くなるような構成を基本とする。

●地域の景観特性に応じたきめ細かな規制

京町家等の伝統的な建物による歴史的な町並みや、三方の山々の内縁部に広がる戸建住宅を中心とした住宅地など、地域ごとの特性に応じた高さに見直す。特に歴史的都心地区や世界遺産の周辺、鴨川や桂川などの水辺周辺では、特徴となる景観を保全するために、高さ規制を強化する。

●都市に必要な機能への配慮

工業地域では、市街地全体での景観形成を図る観点から、高さ規制を引き下げるが、工場等の建物については、一定の高さまで建てることができる。

また、都市拠点や学術研究地区等の都市活動上必要な地区については、景観に配慮しつつ、一定の土地利用に配慮した高さとする。

●眺望景観や借景を保全するための新たな条例の制定

京都には、歴史的な建造物、河川等の自然環境、そして三方の山並みなどが一体となって調和している優れた眺望景観や、比叡山など遠くの景観要素を庭園に取り込み一体的な景観として眺める「借景」の文化が歴史的に育まれてきた。

このような優れた眺望景観や借景の眺めを保全するため、守るべき高さを定め、建築物等の高さを規制していく。さらに、視線の確保だけでなく、近くに見える建築物等についても、きめ細かにデザイン基準を導入し、良好な眺望景観や借景を保全していく。

(2) デザイン基準の見直し

●市街地全域でのデザイン基準の見直し

京都らしい町並み景観を守り継承するために、市街地のほぼ全域を対象に、建物の色彩や形態、意匠等に関する基準を充実・明確化し、市街地のほぼ全域をデザイン基準の対象とする。

三方の山々と山麓部周辺では、自然景観を維持し、緑豊かな住環境を形成するため、風致地区制度を活用する。

歴史的市街地では、京町家等の伝統的な建物による歴史的な町並みを保全するため、美観地区（景観地区）制度をさらに活用するとともに、良好な市街地景観の創出を図るため、新たに美観形成地区（景観地区）制度も導入する。

三方の山々の内縁部、南部地域やその他の地域で、良好な景観形成を図るため、建造物修景地区（景観計画区域）の制度を活用する。

●地域の景観特性に応じたきめ細かな基準を設ける

世界遺産の周辺、水辺周辺や緑地周辺等の特徴的な景観特性を有する地域、通り景観に特色のある沿道など、まとまりのある地区ごとに細分化し、それぞれの景観特性に対応する基準を設ける。さらに、京都らしい歴史的な町並み景観と調和した形態、意匠、色彩等となるようなデザイン基準を明確化する。

(3) 屋外広告物規制の見直し

●良好な景観形成のための規制見直し

屋上看板については、全市で表示を禁止する。他の屋外広告物については、高さ、大きさ、色彩の規制を強化する。さらに、点滅照明の屋外広告物への使用を全面的に禁止する。また、歴史的都心地区内の田の字地区等の幹線道路においては、道路上空に突き出す袖看板等を禁止する。

●地域ごとの景観特性に応じた規制の見直し

風致地区や美観地区などの景観特性や、高さ規制の見直しに対応した規制となるよう規制区域を見直し、規制区域を細分化する。

（いしむら　みちたか）

前川國男建築展 in 京都

建築家・前川國男の生誕100年を記念して、その建築思想と今日における意味を検証する展覧会が、京都造形芸術大学のギャラリーで開催される。

ル・コルビュジエに師事した前川國男は、帰国独立後、近代建築を日本に導入する運動を精力的に展開する。紀伊國屋書店、神奈川県立図書館・音楽堂、京都会館、東京文化会館、埼玉県立博物館、東京都美術館、東京海上ビル、熊本県立美術館などの作品を生み出し、近代建築の本流に位置しながら常にそのあり方に批判と提言を続けた。

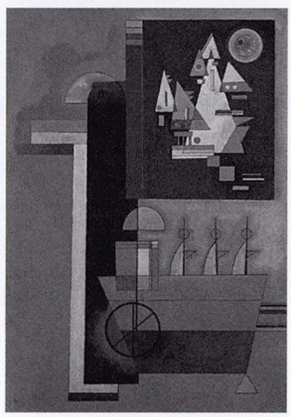
本展では、約250点余りの資料を展示する。

会　期　2006年11月17日(金)～12月24日(日)
　　10：30～18：30　12/24以外の日曜日は休廊
会　場　京都造形芸術大学　人間館1F
　　「ギャルリ・オーブ」　TEL 075-791-9122
　　京都市左京区北白川瓜生山2-116
　　京都市バス⑤「上終町京都造形芸術大学前」
入館料　一般500円、小中高生は無料

夢の美術館：大阪コレクションズ

大阪市立近代美術館建設準備室、国立国際美術館、サントリーミュージアム〔天保山〕の3館が共同で企画し、各館所蔵の貴重なコレクションを国立国際美術館に集めて、中学生でも楽しめる“美術の入門編”展覧会が開かれる。中学生以下は無料。

会　期　2007年1月16日(火)～3月25日(日)
　　10：00～17：00（金曜日は19：00まで）
　　月曜日休館、ただし2/12は開館、翌日休館
会　場　国立国際美術館　TEL 06-6447-4680
　　大阪市北区中之島4-2-55
観覧料　一般1,000円、大学生500円、高校生300円
展　示　●大阪市立近代美術館建設準備室から
　　アメディオ・モディリアーニ《髪をほどいた横たわる裸婦》、ルネ・マグリット《レディ・メイドの花束》、ジャン＝ミシェル・バスキア《無題》ほか
　　●国立国際美術館から
　　パブロ・ピカソ《ポスターのある風景》、ポール・セザンヌ《宴の準備》ほか
　　●サントリーミュージアム〔天保山〕から
　　パウル・クレー《生け贄の獣》、クロード・モネ《クルーズ川の岩場》ほか



ヴァシリー・カンディンスキー
《絵の中の絵》
1929年
国立国際美術館蔵

招待券希望者は、日本建築協会(TEL 06-6946-6981)へ。

フランク・ロイド・ライトと武田五一

ふくやま美術館で、「フランク・ロイド・ライトと武田五一：日本趣味と近代建築」展が開かれる。

フランク・ロイド・ライト（1867～1959）と、日本建築にアール・ヌーヴォー、スパニッシュを導入した建築家・武田五一（1872～1938）との交流を起点に、それぞれの日本趣味とそのモダンデザインの姿を探る。

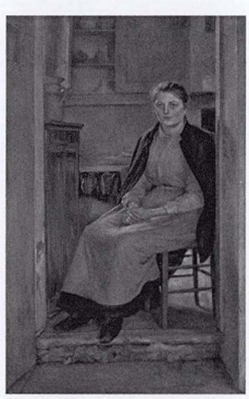
会　期　2007年1月13日(土)～3月11日(日)
　　月曜休館、ただし2/12は開館・2/13は休館
会　場　ふくやま美術館　TEL 084-932-2345
　　広島県福山市西町2-4-3
　　JR福山駅北口より西へ400m
観覧料　一般900円、中高生500円、小学生400円
内　容　建築模型、図面、家具、絵画、写真で構成
　　①ライトの「日本」との出会い
　　1893年シカゴ万博の日本館「鳳凰殿」、1905年の初来日、浮世絵の収集など
　　②ライトの日本における建築
　　帝国ホテル、山邑太佐衛門邸、自由学園、林愛作邸、劇場計画案など
　　③ライトと武田五一
　　ライト作品集など
　　④武田五一の建築、デザイン、絵画
　　日本再発見、アール・ヌーヴォーとの出会い、建築（京都府立図書館、山口玄洞邸、福山市役所・公会堂など）、デザイン、絵画とその素顔

NHK日曜美術館30年展

NHKの「日曜美術館」は放送を開始してから30年。それを記念する展覧会は、番組関連展ならではの特色を打ち出し、作品とともに、番組ゲストの深い思いや作家の制作過程などの映像も紹介する。

会　期　2006年12月13日(水)
　　～2007年1月21日(日)
　　10：00～18：00 月曜休館 12/28～1/3休館
会　場　京都文化博物館　4階・3階
　　京都市中京区三条高倉　TEL 075-222-0888
入場料　一般1,000円、大高生700円、中小生400円

●展示構成と作家
第Ⅰ章／夢の美術案内
第Ⅱ章／作家が作家を語る
第Ⅲ章／アトリエ訪問
第Ⅳ章／知られざる作家へのまなざし
―狩野芳崖、富岡鉄斎、上村松園、鏑木清方、前田青邨、加山又造、フランシスコ・ゴヤ、クロード・モネ、オーギュスト・ルノワール、オディロン・ルドン、パブロ・ピカソ、藤島武二、安井曽太郎、佐伯祐三、岡本太郎、オーギュスト・ロダン、ヘンリー・ムーア、平櫛田中、荻原守衛、高村光太郎、富本憲吉、濱田庄司、黒田辰秋、八木一夫、藤田喬平、田中一村ほか



黒田清輝「裸婦像（厨房）」
1982年　東京藝術大学美術館蔵

招待券希望者は、日本建築協会(TEL 06-6946-6981)へ。

日本の空間デザイン2006展

若手クリエーターの研修の場にもなるように、空間デザイン団体が一堂に集まり、それぞれの団体で毎年開催しているコンペの入賞作品を展示する。

展示されるのはサインデザイン、ディスプレイデザイン、商環境デザイン、インテリアデザイン等の今年度優秀作品。入場は無料。

会　期　2006年12月7日(木)～12日(火)
　　11：00～18：00（最終日は17：00まで）
会　場　ATC・ITM棟10階　TEL 06-6615-5510
　　大阪デザイン振興プラザ　デザインギャラリー
　　大阪市住之江区南港北2-1-10
出　展　㈳日本ディスプレイデザイン協会、㈳日本商環境設計家協会、㈳日本インテリアデザイナー協会、関西インテリアプランナー協会、㈳日本サインデザイン協会

『ボロボロ ドロドロ展』

ニューヨークで制作を続ける河井美咲(1978年、大阪生まれ)とテイラー・マッキメンス(1976年、カリフォルニア生まれ)の展覧会『ボロボロ ドロドロ展 帰ってきた日本のサブ・カルチャー』を開催している。

展示されるのは、建築家を父に持つ河井美咲の、空間をのびのび使ったインスタレーション。日本人よりも日本のサブ・カルチャーを知り、それをアートの文脈の中へ取り込んでいくテイラー・マッキメンスの一見「ドロドロ」と見えるが細密なドローイング。

会　期　2006年10月13日(金)～2007年1月28日(日)
　　11：00～19：00（水曜日は21：00まで）
　　月曜日休館(ただし12月の月曜日と1/8は開館)
会　場　ワタリウム美術館　TEL 03-3402-3001
　　東京都渋谷区神宮前3-7-6
入場料　大人1,000円、25歳未満の学生800円

京都の画家シリーズ「徳岡神泉展」

松伯美術館の企画展シリーズ第一弾に、明治29年京都に生まれた徳岡神泉を取り上げる。

神泉は13歳で竹内栖鳳の画塾竹杖会に入門。初期には身近にある自然を題材とし、大正8年、富士山麓に移り住んでからは「狂女」のような表面的な美の域を超越した作品を残し、そして大正12年京都に戻ると、「芥子」「蓮池」など静寂の中に玄妙の世界を追求した作品を描き、後に、単純化した構成に装飾的要素を採り入れた画風へと変化を遂げた。



徳岡神泉《薄》 昭和30年
京都国立近代美術館蔵

会　期　2006年12月15日(金)～2007年2月4日(日)
10：00～17：00、月曜と年末年始は休館
会　場　松伯美術館　TEL 0742-41-6666
奈良市登美ヶ丘2-1-4
近鉄奈良線「学園前駅」北口よりバスで約5分
入館料　高大生を含む大人800円、小中生400円
展　示　「晩秋」「蓮池」「池」「流れ」「薄」「枯葉」「雨」「池」など約10点を予定

松下資料館と京セラファインセラミック館の見学

NPO法人企業ミュージアムの協会の2006年最後の見学会は、京都府木津町にある松下幸之助の映像・音声・図書を網羅する松下資料館と、京都市伏見区竹田にあるファインセラミック技術の発展過程を公開する京セラファインセラミック館を訪れる。

開催日　2006年12月15日(金)10：00～16：00
集合：近鉄京都線「山田川駅」改札口
10：00　徒歩で松下資料館へ、見学
14：00　地下鉄「竹田駅」下車、徒歩で移動
14：30　京セラファインセラミック館見学
定　員　20名
参加費　一般1,800円（交通費・昼食代は各自負担）
申込み　企業ミュージアムの協会へ。
TEL & FAX 06-6872-0969

ロレアル賞連続ワークショップ2006

色に関する新しい運動、科学と芸術の対話、科学と芸術のコラボレーションが生まれることを期待して、ロレアル アーツ アンド サイエンス ファンデーションが10年間にわたり主催してきたワークショップは、3回以降、下記テーマで開かれる。

③「脳は美をいかに感じるか？」12月15日(金)
18：30～20：30――セミール・ゼキ（ロンドン大学教授）
④「脳はどのように色を知覚するか？」12月16日(土)
14：00～17：00――セミール・ゼキ（前掲）、小松英彦（NIPS教授）、定藤規弘（同）、コメンテーター：茂木健一郎（脳科学者）
⑤「i（愛）とe（善）の彼方へ」12月22日(金)
18：30～20：30――小林康夫（東京大学）、永山国昭（自然科学研究機構）

会　場　東京デザインセンターB2Fガレリアホール
東京都品川区東五反田5-25-19
参加費　一般各回1,000円、学生無料
申込み　希望の回・名前（フリガナ）・会社名・部署・住所・TEL・FAX・e-mailを明記の上、メールかFAXで下記へ申し込み。
ロレアル アーツ アンド サイエンス ファンデーション
e-mail：rnakamura@gol.com
FAX 03-5308-2667

詳しくはhttp://www.nihon-loreal.co.jp/へ。

南港ヌーヴォーあらわる

大阪デザイン振興プラザのデザイン工房に入所しているデザイナーによる、クリスマスに因んだワインのボトルラベルデザインコンペが、来場者の見守るなか、開催される。先着来場者にはプレゼントも！入場無料。

日　時　2006年12月23日(土)～24日(日)
10：00～18：00
場　所　大阪南港ATC・ITM棟2階
ハーバーアトリウム特設コーナーほか
大阪市住之江区南港北2-1-10
大阪市交通局ニュートラム「トレードセンター前」駅下車すぐ

なお、コンペ優秀作品はhttp://www.osaka-design.co.jp/で発表される。

インテリアプランニング賞2006

(財)建築技術教育普及センターが主催する「インテリアプランニング賞2006」は今年4月に応募を受け付け、193名・247作品が寄せられた。

審査（委員長・鬼頭梓）は提出図書と現地確認による2段階で行われ、国土交通大臣賞、財団法人建築技術教育普及センター理事長賞、優秀賞、入選の計18作品が受賞した。なお、京都迎賓館は特別賞を受賞した。

国土交通大臣賞を受賞したのは、中村拓志（有限会社NAP建築設計事務所）さんの「Seamless Space」。約30mある敷地間口分の勾配を巧みに設計に取り込んだ個室型美容院は、三重県桑名市に建つ。

入賞・入選作品はhttp://www.jaeic.jp/jp2006.htmに掲載中。

摂南大学で非常勤講師公募

摂南大学工学部建築学科では、「設計演習」担当の非常勤講師を下記により公募している。

●募集人数　5名

●担当科目と職務内容

建築学科の設計演習Ⅰ（1年生後期・月曜日）、Ⅱa（2年生前期・金曜日）、Ⅱb（2年生後期・金曜日）、Ⅲ（3年生前期・水曜日）のいずれかにおいて、設計課題の検討並びに20人程度のグループに対する設計指導。13時から17時50分まで。

●報酬

時間あたり手当額、交通費等は、摂南大学で別に定めるところによる。

●時期　2007年度から原則年度ごと。最長4年間

●応募資格及び条件

①設計指導に十分な実務経験と意欲があり、学生にわかりやすい演習が実施できること。
②摂南大学まで無理のない通勤圏内に居住すること。
③4年制大学卒業以上の学歴を有すること。

●提出書類

①履歴書（市販の用紙可、6カ月以内に撮影の写真を貼付。また備考欄に「出勤可能な曜日・時間」を記入すること）
②これまでの主な作品のポートフォリオもしくは研究教育業績書
③結果通知返信用封筒（定型封筒または、レターサイズの封筒で、表に、本人の住所・氏名を明記し、80円切手を貼付）

●提出期限　2007年1月16日(火)(必着)

●選考

書類による第一次審査の後、面接。採否結果は、選考終了後、応募者本人に文書で通知。

●問い合わせ並びに提出先

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
摂南大学工学部建築学科 学科長　岩田　三千子
Tel & Fax　072-839-9128
e-mail　michico@arc.setsunan.ac.jp

なお、応募に際しては書留で、封筒に「設計演習」非常勤講師応募書類と朱書きして郵送。

大阪・心ふれあうまちづくり賞

第13回大阪・心ふれあうまちづくり賞（主催：大阪府、大阪市）への応募は264通・98施設あった。9月に2回の現地視察を終えて、審査委員会（委員長：辻一・大阪脊髄損傷者協会会長）は、8作品を選出した。

- 大阪府知事賞――関西医科大学附属枚方病院
- 大阪市長賞――そごう心斎橋本店
- 大阪府知事特別賞――阪急京都線上牧駅
- 大阪市長特別賞――ニッセイ新大阪ビル
- 奨励賞――野村證券豊中支店／上野デイハウスしもつき／アルカンシエルベリテ大阪／辻学園西天満校舎

日本建築協会

月間の動き

【平成18年10月分】

理事会

第５回常任理事会
10月25日（水）16：00～17：30
出席者　佐野会長ほか６名
議　事（１）平成18年度収支予算執行状況
（２）90周年記念事業について
（３）協会のあり方に関する一般会員の意見募集
（４）その他報告事項

編集委員会

第７回編集委員会
10月11日（水）18：00～21：15
出席者　設楽委員長ほか６名
議　事（１）11月号「もしも…～構造が未来へつなぐ夢～」特集経過報告
（２）12月号「伊丹産業㈱埼玉精米工場」小特集報告
（３）12月号「私の空間作法」特集経過報告
（４）１月号「京都支部設立60周年記念号」特集報告
（５）２月号「これからの学校建築」（仮題）特集報告
（６）３月号「東海支部」特集の企画
（７）４月号「創立90周年記念号」特集の企画
（８）５月号以降の特集の検討
（９）来年の表紙デザインの検討
（10）作品作風・広告企画の報告・検討
（11）収支状況報告
（12）その他
第８回構造分科会
10月６日（金）18：00～20：15
出席者　中塚幹事ほか３名
議　事（１）11月号「もしも…～構造が未来へつなぐ夢～」特集報告
（２）「構造の頁」の企画
（３）委員間の質疑応答
（４）広告の企画
（５）分科会運営の活発化について
（６）４月号「90周年記念号」の企画委員の選任
第４回設備分科会
10月４日（水）18：00～20：00
出席者　赤澤幹事ほか６名
議　事（１）編集委員会報告
（２）「設備の頁」の企画
（３）“測定機器シリーズ”頁の検討
（４）来年の設備特集号の検討
第12回施工材料分科会
10月13日（金）17：00～18：00
出席者　藤丸幹事ほか４名
議　事　10月号特集について反省会
第７回法令分科会
10月10日（火）14：00～16：00
出席者　赤井幹事ほか４名
議　事（１）「90周年記念号」の企画
（２）「法令コーナー」の企画
（３）情報交換
第７回作品作風小委員会
10月26日（木）19：00～20：00
出席者　井上副委員長ほか７名
議　事（１）作品の選定
（２）作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
（３）「gallery」掲載報告・予定
（４）前回の編集委員会の報告
（５）12月号特集「会員特集　私の空間作法」レイアウト
第７回広告企画小委員会
10月11日（水）17：00～18：00
出席者　設楽委員長ほか３名
議　事（１）11月号「もしも…～構造が未来へつなぐ夢～」特集経過報告
（２）12月号「伊丹産業㈱埼玉精米工場」小特集報告
（３）12月号「私の空間作法」特集報告
（４）１月号「京都支部設立60周年記念号」特集報告
（５）２月号「これからの学校建築」（仮題）特集報告
（６）３月号「東海支部」特集の企画
（７）４月号の特集
（８）単発広告企画頁のテーマとその具体化
（９）広告掲載状況
（10）収支状況報告
第１回90周年記念号企画委員会
10月12日（木）18：00～20：20
出席者　設楽編集委員長ほか３名
議　事　2007年４月号「90周年記念号」の企画
第２回90周年記念号企画委員会
10月31日（火）18：00～19：45
出席者　設楽編集委員長ほか５名
議　事　４月号「90周年記念号」の企画

事業委員会

第１回情報見学小委員会茶室見学分科会
10月２日（月）18：00～19：30
出席者　伊藤幹事ほか２名
議　事（１）朝雲庵について
（２）候補と時期

出版委員会

第６回出版委員会
10月19日（木）18：00
～19：00
出席者　植村委員ほか６名
議　事（１）進行中のテーマ報告
（２）出版記念講演会の収支報告

教育委員会

第１回工高生教育小委員会
10月４日（水）18：30～20：00
場　所　OMMビル２階７号会議室
出席者　山形委員長ほか10名
議　事（１）第52回工高生デザインコンクール応募作品の予備審査の報告
（２）審査会、表彰式の分担
（３）表彰式後の行事予定
第52回工高生デザインコンクール審査会
10月14日（土）13：30～19：20
場　所　安井建築設計事務所　ラウンジ
出席者　指田孝太郎審査委員長ほか13名（うち３名は事前審査）
和田教育副委員長ほか６名

建材委員会

第４回建材委員会
10月10日（火）17：00～18：30
出席者　松原委員長ほか５名
議　事（１）掲載決定の材料についての協議
（２）検討材料の選定

日本建築協会賞

第３回日本建築協会賞選考委員会
10月31日（火）15：00～16：30
出席者　金多委員長ほか７名
議　事（１）応募作品について
（２）審査の経過と絞り込み
（３）今後の予定

記念事業検討委員会

90周年記念事業検討委員会
10月17日（火）15：00～16：00
出席者　瀬戸川事業委員長ほか１名
議　事（１）式典・シンポジウム・表彰の基本事項
（２）実行委員会の設置

入会者（敬称略）

〔個人正会員〕
石﨑　憲司（倉橋石材工業㈱）
濱野　博美（濱野建築設計事務所）

〔団体正会員〕
大之木建設㈱
吉村建設㈱



■印刷事業 ポスター、カタログ、パンフレット、書籍、年鑑、社史、雑誌、文字、画像データ処理
■メディア事業 SPプランニング・コンサルティング、ITソリューション、web及びメディアコンテンツ企画制作、
株式会社NPCコーポレーション
本　社 〒530-0043 大阪市北区天満1-9-19
tel:(06)6351-7271(代) fax:(06)6352-7479
第二ビル 〒530-0043 大阪市北区天満1-11-8
tel:(06)6351-0128(代) fax:(06)6351-0208
東京支社 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-2
tel:(03)3433-5211(代) fax:(03)5776-7733
（旧社名ナニワ印刷㈱、日本データネット㈱）

建築と社会
第87集総目録

2006

（平成18年）

社団法人　日本建築協会

特集号

都市環境デザインと参加のまちづくり―六甲道駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業・コーディネート／デザイン レポート ……1
「地方空港の時代」 ～まちと共存する空港づくり～ ……2
東海支部会員作品2006＋東海支部特集 3 部作……3
都市再生の本質～光の影とはざまで～ ……4
変容する家族形態とあたらしいライフスタイル ……5
身近な省エネルギー～エネルギーをたくわえ、有効利用する～ ……6
設計図が伝えるもの ……7
建築物の安全・安心 ……8
第53回青年技術者 ……9
「セキュリティ」 ―あなたの建物は大丈夫ですか?― …10
もしも…～構造が未来へつなぐ夢～ ……11
私の空間作法―会員作品― ……12

作品作風

●官公庁舎
奈良県立図書情報館 ……2
設計：日本設計・桝谷設計共同企業体
監理：奈良県土木部営繕課、日本設計・桝谷設計共同企業体
施工：奥村・淺沼・村本・浅川・中村・尾田JV
西谷ふれあい夢プラザ ……5
設計：安井建築設計事務所
監理：宝塚市建設部建築営繕課
施工：中武建設工業
県立西播磨総合リハビリテーションセンター リハビリ中央病院 ……9
設計・監理：（意匠）兵庫県県土整備部まちづくり局営繕課
（構造外構）松田平田設計大阪事務所
（設備）兵庫県県土整備部まちづくり局営繕課・松田平田設計大阪事務所
施工：（病院棟）大林・大豊・上林・成影特別共同企業体
（研修交流等）美樹・石川島播磨特別共同企業体
●学校建築
愛知大学豊橋校舎 研究館……3
設計・監理：安井建築設計事務所
施工：竹中工務店
豊田市立巴ケ丘小学校 ……3
設計指導：名古屋市立大学
監修：建築計画連合
設計・監理：豊田市都市整備部営繕課・伊藤建築設計事務所
施工：近藤・アイシン特定建設工事共同企業体
同朋学園複合施設「Doプラザ　閻蔵」 ……3
設計・監理：安井建築設計事務所
施工：大林組
愛知工業大学本山キャンパス ……5
設計・監理：清水建設
施工：清水建設
姫路獨協大学　医療保健学部棟 ……7
設計：安井建築設計事務所
監理：学校法人獨協学園 姫路獨協大学・安井建築設計事務所
施工：大林組
関西大学総合学生会館メディアパーク凜風館 ……8
設計・監理：竹中工務店
施工：竹中工務店
●医療施設
関西医科大学附属枚方病院 ……3
監修：日本設計
設計・監理：竹中工務店
施工：竹中工務店
徳島赤十字病院 ……7
設計・監理：日建・安井設計業務共同体
（病院棟）日建設計
（複合棟・防災エネルギーセンター）安井建築設計事務所
施工：（病院等）鹿島建設
（複合棟・防災エネルギーセンター）大林組
おかもと総合クリニック ……7
設計・監理：大林組
施工：大林組
●文化・スポーツ・社会施設
産業技術記念館10周年記念事業 ……3
設計・監理：竹中工務店
施工：竹中工務店
中京テレビ放送株式会社 北館 ……3
設計・監理：伊藤建築設計事務所
施工：大林組名古屋支店
鈴鹿サーキット新グランドスタンド ……3
設計・監理：竹中工務店
施工：竹中工務店
小倉百人一首殿堂　時雨殿 ……4
設計・監理：竹中工務店
施工：竹中工務店
●銀行建築
桑名信用金庫川越支店 ……3
設計・監理：伊藤建築設計事務所
施工：清水建設名古屋支店
知多信用金庫加木屋支店 ……3
設計・監理：伊藤建築設計事務所
施工：七番組
●交通施設
白庭台駅・学研北生駒駅・学研奈良登美ケ丘駅……6
総合設計・監理：近畿日本鉄道
設計・監理：（白庭台駅）全日本コンサルタント
（学研北生駒駅）全日本コンサルタント・ゲンプラン
（学研奈良登美ケ丘駅）全日本コンサルタント・安井建築設計事務所
施工：（白庭台駅）大日本土木・大林組・三井住友建設JV
（学研北生駒駅）錢高組・鴻池組・鉄建建設JV
（学研奈良登美ケ丘駅）大林組・竹中工務店・大日本土木・森本組JV
●住宅・マンション・社宅
コンチェルトタワー豊橋 ……3
設計・監理：東畑建築事務所名古屋事務所
施工：大林組名古屋支店
新千里桜ヶ丘メゾンシティ……6
設計・監理：竹中工務店
施工：竹中工務店
クロスタワー大阪ベイ ……11
設計・監理：（意匠）昭和設計
（構造）鹿島建設
（インテリア監修）アニエスベー
施工：鹿島建設
●商業施設
ロックシティ大垣ショッピングセンター ……3
基本設計：東畑建築事務所名古屋事務所
実施設計：大本組名古屋支店・大和ハウス工業名古屋支社
施工監修：東畑建築事務所名古屋事務所
施工：大本組名古屋支店・大和ハウス工業名古屋支社
MEITEN-GAI〔徳島駅前名店街〕 ……7
設計・監理：昭和設計
施工：戸田建設
ミント神戸（神戸新聞会館ビル） ……12
設計・監理：竹中工務店
（デッキ・パスターミナル）パシフィックコンサルタンツ
施工：竹中工務店
●老健施設
エレガーノ甲南 ……10
設計・監理：大林組一級建築士事務所
施工：大林組・神鋼興産建設共同企業体
●その他
株式会社川勝法衣店 新社屋 ……3
設計・監理：地域生活空間研究所
施工：藤木工務店京都支店
宗教法人円応教 松江会館……8
設計：昭和設計
施工：西松建設中国支店
オムロン草津事業所新 3 号館 ……10
設計・監理：竹中工務店
施工：竹中工務店・小田急建設・東急建設JV
遠藤照明 ……12
設計・監理：昭和設計・アーバン・エース
施工：竹中工務店
株式会社コスメック新社屋……12
設計・監理：安井建築設計事務所
施工：竹中工務店

gallery

変形な敷地に挑む（番　齊・五十嵐正洋）／澤田純一 ……1
架空の都市を創る（北原　聡）／増田敬彦 ……2
天空への飛翔（大河内久子）／倉渕奈千子 ……3
最低限で最大のコト（周野朱実）／戸川勝之 ……4
旗竿地に建つ二世帯三世帯住宅（中間伸和）／山田俊紀 ……5
素（もと）（清水正勝）／居内章夫 ……6
住宅地に面する工場建築（高草大次郎＋稲垣元宣） ……7
うるしのこれから（桐本泰一）／川上比奈子 ……8
仰ぐ家（作人〔SAKUTTO〕）／稲垣和江 ……9
端正な表情（菊井進二郎）／井上雅祐 ……10
光（松本浩作）／鞆野淳司 ……11
異世代交流の彩―御池中学校モニュメント（河野　守）／芳谷晴彦 ……12

研究の風景

高田・神吉研究室／京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 居住空間学講座 ……4
三浦　研　研究室／大阪市立大学大学院生活科学研究科 長寿社会総合科学講座 ……5
辻原研究室／熊本県立大学環境共生学部居住環境学専攻 ……6
山本直彦研究室／滋賀県立大学環境科学部環境計画科 環境・建築デザイン専攻 建築計画講座 ……7
平尾和洋研究室／立命館大学理工学部 ……8
大影佳史研究室／名城大学理工学部環境創造学科 大学院理工学研究科環境創造学専攻 ……9
吉田　晋研究室／高知工科大学工学部社会システム工学科 ……10
砂本文彦研究室／広島国際大学社会環境科学部建築創造学科 ……11
本多友常・平田隆行研究室／和歌山大学システム工学部 ……12

都市環境デザインと参加のまちづくり

―六甲道駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業・コーディネート／デザイン レポート

●まえがき
協働のまちづくりと都市デザインの実践／安田丑作 …1
●写真と図
航空写真＋街並み写真＋竣工写真＋配置図＋平面図＋色彩計画＋立断面図＋被災地図＋被災航空写真＋街づくり提案模型＋住民案 ……1
●レポート
・コーディネートレポート
①なぜ六甲道駅南地区再開発事業は10年間で完成したか―住民の合意形成過程の検証／有光友興 ……1

号

②新しい都市像—市街地再開発事業における都市デザインの挑戦／井口勝文 ……1
③新しい都市像—都市環境デザイン基準の運用／三浦哲之 ……1
④まちづくりの手法としての「都市再開発法」—震災の教訓／齋藤彰良 ……1
⑤六甲道駅南地区復興市街地再開発事業・行政の対応—都市計画決定からまちづくり提案まで／倉橋正己 ……1
⑥住民による計画案作成と再開発地区の空間デザイン／児玉善郎 ……1
⑦住民のかかわりと合意形成—パブリック・インボルブメントによるまちづくり／南草孝司 ……1
⑧住民主導によるまちづくり—再・再開発事業における合意形成／仲川邦俊 ……1
・デザインレポート
①賑わいが見える街をつくる—六甲道1番街／設楽貞樹 ……1
②天に伸びゆく復興の思い!—六甲道2番街／髙木明・小薗龍一 ……1
③自然発生的な集落のイメージをヒューマンスケールで—六甲道3番街／川田啓一 ……1
④防災支援拠点の形成と周辺街並みとの調和—六甲道4番街／村山　寛 ……1
⑤表通りと裏通り・都市空間のシークエンスをつくる—六甲道5番街／平林雅博 ……1
⑥協調型による中高層住宅の再開発—六甲道6番街／江川直樹 ……1
⑦住民は国際デザインコンペを呑みこんだか—求心的な街の構造を完成させた「イタリア広場」／井口勝文 …1
⑧記憶の継承と創造—六甲道の外部空間デザイン／光安正太 ……1
⑨都市歓共のデザイン—商業コンサルタントの立場から／川口隆男 ……1
⑩対話から生まれたひとつの理想—六甲道南公園／吉武宗平・鈴木康平 ……1
⑪都市環境デザインと住民参加—公共施設の整備に関して／大西利幸 ……1
⑫一体感と潜在をつくる環境色彩／吉田愼悟 ……1
●あとがき
あとがき／有光友興 ……1
結びに寄せて／鳴海邦碩 ……1
●資料
都市環境デザイン基準／関係者一覧／再開発事業の概要／建築・公園・広場の概要／事業年表 ……1

「地方空港の時代」
～まちと共存する空港づくり～

●総論
地方空港の現況と今後の展開／伊勢尚史 ……2
●各論
神戸空港「マリンエア」の開港／岡田宏二 ……2
地方空港の旅客ターミナルビル／原口　修 ……2
地方空港が目指す国際戦略／徳田賢二 ……2
●随筆
空港の思い出／Fred W. ClarkeⅢ ……2

東海支部会員作品2006
＋東海支部特集3部作

●東海支部会員作品2006（作品作風欄既載）
愛知大学豊橋校舎研究館／豊中市立巴ケ丘小学校／同朋学園複合施設「Doプラザ閻蔵」／産業技術記念館10周年記念事業／桑名信用金庫川越支店／知多信用金庫加木屋支店／中京テレビ放送株式会社 北館／鈴鹿サーキット新グランドスタンド／コンチェルトタワー豊橋／ロックシティ大垣ショッピングセンター ……3
●街道・宿場町シリーズ
地方文化の源流を訪ねて—東海道47番目の宿・関宿—／嶋村明彦 ……3
●東海の建築事例紹介：木造・木造仕上げ
高山市立南小学校—児童の成長を育む木造の低層校舎—／若林　亮 ……3
子供の成長を見守る木造の保育園—嬉野保育園—／篠原佳則 ……3
木によるおもてなしの装い—特別擁護老人ホームメリーホーム大喜—／篠原佳則 ……3
株式会社赤福本店—古い木造建築の保存と再生—／伊東　正・因　純一 ……3
産業技術記念館—古い木造建築の保存と再生—／伊東　正・因　純一 ……3
●東海支部会員が語る
元気な愛知のその後／小宮三辰・福田泰造・山本敦子・篠原佳則 ……3

号

都市再生の本質
～光の影とはざまで～

●総論・都市の魅力
秩序と混沌—「都市組織」と「都市住居」—／布野修司 ……4
都市という言葉のあらわすもの—2つの「金沢」で考えたこと—／花田佳明 ……4
●各論・都市の光と影
彷徨える都市—都市の美しさをめぐって—／嘉名光市 ……4
妄想は都市の底で濃縮していく／春日武彦 ……4
盛り場の美学—歩くこと自体を愉しみに、そして少しのいかがわしさを—／加藤政洋 ……4
土壌汚染と開発／横山勇一郎 ……4
木密の魅力と課題／北條蓮英 ……4
再生する都市—西淀川公害の経験を教訓に—／鎗山善理子 ……4
都市の未知なる「美しさ」／森田一弥 ……4
●リレーコラム・9
都市へのおもい～編集委員にとっての「都市の光と影」～ ……4

変容する家族形態とあたらしいライフスタイル

●総論
『方(かた)』の設計～変容する社会と課題～／髙山　徹 ……5
少子高齢社会に対応した住戸計画に向けて～新しい家族像とライフスタイルの視点から～／加茂みどり ……5
●各論
集合住宅の間取りの行方～「2DK」発「nLDK」経由～／阿部泰浩 ……5
多様な生活を支える公営住宅の活用／山田　治 ……5
北欧における高齢者の住まい方／二井るり子 ……5
高付加価値型民間集合住宅のインテリアデザイン／水原宏 ……5

身近な省エネルギー
～エネルギーをたくわえ、有効利用する～

●総論
蓄熱と省エネルギー／相良和伸 ……6
●各論・設計時にうまく使えるハイテクとローテクの技術
《風を有効に使おう》
小型垂直軸風車による都市型風力発電／安田　陽 ……6
《太陽を有効に使おう》
太陽電池でソーラー発電を／戸成秀道 ……6
《電気をためる》
鉛蓄電池で省エネのアイディアを／松村康司 ……6
《熱をためる》
「エコアイス」・「エコキュート」～「ためる」と「省エネルギー」は両立するか～／田井公浩 ……6
PCMを用いた蓄熱式電気床暖房／松岡敏昭 ……6
《コージェネと燃料電池》
マイクロコージェネでの排熱利用／砂野貢助 ……6
実験集合住宅NEXT21の居住実験／志波　徹 ……6

設計図が伝えるもの

●総論
建築設計図の意味をめぐって／西村征一郎 ……7
●各論
建築を知るとは何か—設計図を作図するに必要なこと—／木下孝一 ……7
建築設計図が伝えるもの／庄野利博 ……7
手書き図面が持つ力／竹原義二 ……7
ものづくりの現場が求める設計図—建設会社の設計施工における設計図の役割—／松﨑健二 ……7
建築図面の役割について、日米の図面を比較しながら考える／光井　純 ……7
図面という思考の道具／竹山　聖 ……7
村野藤吾の設計図面を巡る二三の事柄／竹内次男…7

建築物の安全・安心

●総論
建築確認制度のあり方／巽　和夫 ……8
違反対策から既存不適格へ～建築安全官の構想～／増渕昌利 ……8
●各論
建築基準法改正の動き～建築物の安全性の確保を図るための建築基準法等の一部を改正する法律～／中野義裕 ……8
指定確認検査機関の果たす役割／樫田　攻 ……8
法改正と耐震安全性～安全は神話～／角　彰 …8
「すまい」の安全安心を確保するために／岩見吉剛 …8
耐震改修のすすめ／野村　彰 ……8
民間建築物におけるアスベスト対策／前田由佳 ……8

第53回青年技術者

●設計・計画部門
黒川賢一／西宮北口駅南西第二地区土地区画整理事業の計画と推進 ……9
須賀定邦／ストロングビルディング、全日空整備食堂施設棟、中之島新駅企画デザインコンペ ……9
森　雅章／京都市本能特別擁護老人ホーム・京都市立堀川高等学校本能学舎 ……9
松森織江／波賀町保養施設メイプルプラザ、峰山高原ホテル リラクシア、京都市太秦東部地区第一種市街地再開発事業 ……9
平岡健太郎／Digital Dream Steps、RiBia、大阪イーストガーデンズタワー ……9
木村達也／西宮市T邸、朝日新聞敦賀支局、四国学院大学図書館、松山労働総合庁舎 ……9
中島　上／金光教玉水教会、洲本市文化体育館、阪南高等学校・中等部、京都リサーチパーク8号館 …9
●構造部門
大高秀一／高減衰ゴム制振壁とメガ架構を取り入れたRCタワーマンション ……9
志摩好宣／超高強度コンクリートと制振ダンパーを用いた超高層住宅 ……9
田中秀人／制震梁を組み込んだ高層RC造オフィスビルの開発 ……9
石出一郎／フレキシブルな住空間と高い構造安全性の実現～アンペレーナ百道～ ……9
小松慎二／「兵庫県立芸術文化センター」の構造設計 ……9
●設備部門
高橋純大／魅力あるキャンパスの創造—社会に求められる施設整備計画と実施— ……9
梅村俊輔／環境の時代に設備設計者がやるべきこと ……9
●施工部門
吉良圭史／「スーパーRCフレーム構法」における軀体4日サイクルの実現 ……9
武田　浩／杉板本実型枠を用いたブラックコンクリート化粧打放し仕上げ技術 ……9

「セキュリティ」
—あなたの建物は大丈夫ですか?—

●総論
防犯環境設計の概念と実践／小出　治 ……10
意味論で捉えるセキュリティ～その根源的考え方～／甘利康文 ……10
●各論
通信システムとセキュリティ／吉田博之 ……10
錠の防犯性能と実用性能／河尻邦夫 ……10
エレベーターのセキュリティ機能について／中村久仁子 ……10
工事現場における防犯対策／横川和弘 ……10

もしも…～構造が未来へつなぐ夢～

●座談会
建築の未来像—100年後の世界をのぞいてみれば—／中村安奈・神野太陽／橘英三郎 ……11
●各論
・もしも環境に優しい建物を建てるなら
自然と心を結ぶ建築／酒井利行 ……11
・もしも建物の寿命が来たら
建物の寿命を見極める／佐藤孝典 ……11
・もしも構造設計者がいなかったら
前近代の日本建築界では／日向　進 ……11
・もしも地震がなかったら
日本の技術力はどう展開するか／彦根　茂 ……11
・もしも基規準がなかったら
基規準・指針の位置付けと役割／多賀謙蔵 ……11
・もしも予算の縛りがなかったら
尽きない夢と予算の縛りのはざまで／藤田佳広 ……11

私の空間作法—会員作品—

光のある家／大江泰輔 ……12
落ち着ける家／稲垣元宣・稲垣和江 ……12
ワンボックス・ハウス／森村政悦 ……12
大きな自然と交信するまちの住まい／新居照和&ヴァサン

号

ティ……12
くつろぎの時／村重保則……12
風景となる空間／池井　健＋平尾和洋……12
ない　をたす／岡崎義久・三宅　純……12
異空間へのいざない／中尾勝悦……12
レトロとモダンの融合／岸　　一……12
現代的な和の設え／吉村篤一……12
地域風景に参加する／上谷重男……12
誘い（ふたたび動き出すために…）／塚口明洋……12
本と遊び学ぶ／美濃吉昭……12
土蔵と土塀・植栽で風景をつくる／長瀬博一……12
住まい創りは永いおつき合い／河南重雄……12
共有する廊下／東井嘉信……12

法令コーナー

大阪府建築物に附属する特定の設備等の安全確保に関する条例／宮本佳典……1
既存雑居ビルへの防災指導／岡田祐一……2
京都府・京都市の違反建築に対する取り組み／野村　彰・大伴武司……3
大阪府の建築物の環境配慮制度／木田正憲……4
祇園町南側における歴史的細街路の佇まいの保全・再生／溝上省二……5
神戸市の斜面地建築物条例／狩野裕行……6
エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）の改正／笠原　茂……7
消防法改正により住宅用火災警報器等の設置義務付け／中迫悟志……8
神戸市の総合設計制度／谷中俊宣……9
兵庫県と神戸市でCASBEEがスタート／春風和彦・野澤　匡……10
京都府地球温暖化対策条例と屋上緑化／赤井英稔……11
京都市における建築物の高さとデザイン、屋外広告物の規制の見直し／石村陸貴……12

構造の頁

パイルド・ラフト基礎／山本　博……1
可変形状トラス―愛知万博可動モニュメントへの適用／井上文宏……3
2005年福岡県西方沖の地震被害の報告／小野聡子……5
露出型固定柱脚工法／越智敏夫……7
大阪弁護士会新会館―ソフトファーストストーリーにダンパーを集中配置した事例―／多賀謙蔵・徳田幸弘・鶴田　潤……9
奈良女子大学における技術者教育プログラム／向井洋一……11

設備の頁

新しい音場支援システムを用いたそごう劇場の音響設計／荒木邦彦……2
町なかの土地利用と土壌汚染／矢部誠一……4
高耐久性蓄光陶板を用いた避難誘導標識／石本秀史……6
学校環境衛生の基準と測定機器／星野房助……8
国立国際美術館の環境制御―建築と設備の融合―／丸山良一……10
コージェネの実施例と試算／木村紀雄……12

REPORT

終末医療施設（家）としての京町家復活／泉　紀世史＋大坪欽彌＋堀口利夫……4
塗り替えもセラミックの時代「ファイン4Fセラミック」／荻島英二……4
文化伝承の教室としての伝統的日本住宅―「住育」の大切さを考える―／畑田耕一・林　義久……5
Art Court Frontier 2006 #4（information欄）……8
TAKENAKAデザイン展2006大阪―御堂筋から―（information欄）……9
耐火建材商品展示会―日本インシュレーション（月報欄）……10

図書紹介

●書棚
「植田実の編集現場　建築を伝えるということ」（花田佳明）．「英国の持続可能な地域づくり」（中島恵理）．「A・レーモンドの建築詳細」（三沢浩）……2
●crossroads
建築図書8点紹介……10

号

新建材の夏

AUTO HYBRID DOOR―回転リニア式スライド自動扉―／松本　章……9

設楽貞雄外遊日記

ニューヨークの友人たち＋郊外住宅地への東奔西走／監修：石田潤一郎……1
クリスマスの宵宮の前日に＋舞台照明の最先端を見て／監修：石田潤一郎……2
霧より出て霧へ消え行く＋霧の日は動物園に行こう／監修：石田潤一郎……3
パリからベルギーへ＋フランス古典主義建築に感嘆／監修：石田潤一郎……4
ベルリンにてジーメンス社詣＋機械には後光が差していた／監修：石田潤一郎……5
最後の訪問国イタリアにて＋赤い屋根、緑の窓に白い壁／監修：石田潤一郎……6
洋上で浄瑠璃を語って…＋インド洋をひた走る／監修：石田潤一郎
鼎談：大正初期の欧米と日本を追体験する／石田潤一郎・山本純孝・設楽貞樹……7

information

三井記念美術館「日本橋絵巻」．「新春　大谷コレクション」展．PFI、指定管理者制度、PMのためのSLA入門セミナー．ひょうごまちづくりセミナー2006．建設リサイクル法説明会．アートと話す／アートを話す．「KANDADA」でアート・プロジェクトを紹介……1
「山田脩二の軌跡―写真、瓦、炭」展．京都府美術工芸新鋭選抜展．大阪市立美術館で「日展」．「三井家のおひなさま」「江戸老舗の名品」展．「composition」―建築する音―．カルティエ=ブレッソンを語る．第4回NiSSCイノバンドデザインコンテスト．AICAジョリパット施工例コンテスト．フランク・ロイド・ライト来日100周年記念コンペ．大阪府建築コンクール作品募集．「建築紛争の現状と課題」．PROFFESIONAL SCHOOL．大阪府生活環境の保全等に関する条例改正施行．アスベスト飛散防止内容の提示を!……2
竹中大工道具館「技と心」．SDゼミ「家具を作る～ミニチュア名作家具を作ってみよう!～」．西日本トータルリビングショー．ファシリティマネジャー資格試験実力養成講座．スコットランド国立美術館展―奈良県立美術館―．写真展「夢の中からみつけた街」．「アンリ・カルティエ=ブレッソン展」―大阪芸術大学所蔵作品．「京の食文化展―京料理・京野菜の歴史と魅力―」．インテリアプランニング賞2006．名古屋デザインDO!2006コンペ．American Wood Design Awards 2006受賞作品．第9回大阪市ハウジングデザイン賞受賞作品決定．ル・コルビュジエ／モノトーンの世界．「あすなろ夢建築」表彰式と山本理顕記念講演．第7回人間サイズのまちづくり賞．第37回中部建築賞表彰……3
滋賀県立大学で教員公募．ワタリウム美術館の講演会．フォーラム「町の遺産を生かすin旧乾邸」．2006年こども環境学会関西大会．武庫川女子大学で．「京焼の名工～永楽保全・和全～展」．「アメリカ―ホイットニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔」．「パリを愛した画家　西村　功展」―西宮市大谷記念美術館―．自給自邸展―セルフビルド魂万歳―．「書の国宝墨蹟」展．2006京展―作品公募―．「村を繕く―池尻村の水・信仰―」……4
ジャン・ヌーヴェル近作を語る．㈱都市住宅学会関西支部総会と記念講演会．NPO法人西山夘三記念　すまい・まちづくり文庫のフォーラム．千利休の"幻の茶室"420年ぶりに復元．"環境配慮技術手引書"刊行．医療福祉建築賞2005受賞．春の芸術祭「OASIS2006」．発明王エジソン展．「美樹館の遠足10/10」．フンデルトヴァッサー展．愛の旅人　シャガール展．大絵巻展～「鳥獣戯画」公開～．「～春の雅～上村松園・松篁・淳之展」―松伯美術館―．公共工事に活用する新技術・新製品の募集―大阪府―……5
「台湾の女性日本画家　生誕100年記念　陳進」展．'印象派と西洋絵画の巨匠たち展．「在野に生きた建築家たち」．藤田嗣治展．時間の庭へ・植松奎二展．「光の魔術師インゴ・マウラー展」．スヌーピーライフデザイン展．建設リサイクル法説明会．平成18年度連続セミナー．第13回空間デザインコンペティション．病院建築基礎講座／福祉建築基礎講座．「ニッポンデザイン界のマスターたち」展……6
ドミニク・ペロー講演会を大阪市中央公会堂で．TAKENAKAデザイン展2006・大阪―御堂筋から―．小規模多機能サービス拠点の計画に関するシンポジウム．銀座・京橋・日本橋／中央通り照明デザイン国際競技．SDゼミ「木を知る」．インテリアプランナー試験実施．オープンネットワーク見本市．「人間サイズのまちづくり賞」募集．「大阪まちなみ百景」投票．タイシンけんちく展．プラド美術館展．松伯美術館「華麗なる日本画の美」．北斎と広重展．ピント君アートプロジェクト……7
「文化遺産としてのモダニズム建築DOCOMOMO100選展in大阪」．連続講座「原田の森の物語」．医療福祉建築賞2006募集．「エコビルド賞」作品募集．「ノアの箱舟」をテーマにコンペ．京都工芸繊維大学大学院博士後期課程学生募集．「夏から秋へ・誘われる世界」展．さよならナム・ジュン・パイク展．2006イタリア・ボローニャ国際絵本原画展．遠藤秀平・藤本壮介「ニュージオメトリーの建築」展．「大熊喜英の建築―和のまなざし―」展．彫刻家・大河内久子個展．「アルベルト・ジャコメッティ」展．「レプリカ展―真似るは学ぶ―」．札幌スタイル2006・デザインコンペティション作品募集．ビオトープ管理士資格試験．日本インシュレーション展示会……8
国際デザインコンペティション2006年作品募集．SDゼミ「照明器具をデザインする」．亀井洋一郎展「Lattice Receptacle」・野村仁展「Cosmo-Ardor」．ルイ・カーヌ作品1999-2005展．「木挽とその道具」展．マリア・テレジアとシェーンブルン宮殿展．「設計者のための木構造セミナー」……9
オルセー美術館展「19世紀 芸術家たちの楽園」．「エコール・ド・パリ展―素朴と郷愁―」．ルーブル美術館展．光の魔術師 インゴ・マウラー展、大阪で巡回展．「近代洋画の展開」開催．「余白の美」～象徴空間の魅力～．「赤と黒の芸術 楽茶碗」展．「煉瓦のまち タイルのまち～近代建築と都市の風景～」．「水にうつる願い」展開催．「美術の中のかたち」展．「暮らしとものづくり」展．伊東豊雄 建築｜新しいリアル．脇田和アトリエ山荘での建築ワークショップ、参加を募る．「こ

号

こで　ずっと　暮らしたい!」．マツ六デザインコンペティション．『SMOKERS' STYLE COMPETITION 2006』受賞作品決定．グッド・ペインティング・カラー作品募集．「室生山上公園 芸術の森」開園．建築環境・省エネルギー講習会．10月11日から違反建築防止週間．大阪府内一斉パトロール実施．第2回建設リサイクル法説明会…10
「文化遺産としての村野藤吾作品」展．村井修写真展「都市の記憶」．ART BOX NAGOYA 2006．「時間に生きる―日本のパブリックアート」展．「ルシアン・エルヴェXル・コルビュジエ」展．「応挙と芦雪」展．ポンペイの輝き　古代ローマ都市 最後の日．始皇帝と彩色兵馬俑～司馬遷『史記』の世界～．「大阪人が築いた美の殿堂―館蔵・寄託の名品から―」．戦後関西の風景画展．「敦煌経と中国仏教美術」展．バウハウスをめぐってセミナー．京都伝統文化の見学会．F.L.ライト来日100周年記念コンペ審査結果．大阪府公共建築設計コンクール公募．SSDプロジェクト展示会．なにわ建築フェスタ2006．スタンプラリーin OSAKA．「大大阪の文化とモダン建築のツボ」……11
前川國男建築展in京都．フランク・ロイド・ライトと武田五一．日本の空間デザイン2006展．「ポロポロ　ドロドロ展」．夢の美術館：大阪コレクションズ．NHK日曜美術館30年展．京都の画家シリーズ「徳岡神泉展」．松下資料館と京セラファインセラミック館の見学．ロレアル賞連続ワークショップ2006．南港ヌーヴォーあらわる．インテリアプランニング賞2006．大阪・心ふれあうまちづくり賞．摂南大学で非常勤講師公募……12

雑

●年頭のことば
2006年を迎えて／佐野吉彦……1
●本年の抱負
常設委員長―設楽貞樹・上原正行・山形政昭・瀬戸川葆・松原徹雄……1
●デザインコンクール
第51回工高生デザインコンクール設計課題：コンビニエンスストア……1
●入賞発表
第5回読者と選ぶ「建築と社会」賞
【作品部門】―国分寺文書センター、独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター、田原本青垣生涯学習センター、高島市立静里なのはな園
【論考部門】―21世紀の社会と建築家／馬場璋造、「建築と社会」創刊号から1000号にみる住宅と暮らしの変遷／北浦かほる……7
●特別企画
knowledgeアスベストを知る…すべてに安全な建物を目指して／㈱エーアンドエーマテリアル……9,10,12
●新製品レビュー
圧力テスターT-203、「耐火一番」プロベストRXW…2

会告

「建築する人たち―アーキテクト・アーティストの素顔―」発売中．第5回読者と選ぶ「建築と社会」賞投票は1月20日締切……1
シティプラザ大阪―大阪府市町村職員共済組合会館―見学会開催．常設委員会の委員及びサポーターに就任し委員会活動に活躍されませんか．平成17年度建築工事実務講習会……2
第5回日本建築協会賞と応募用紙．平成17年度第2回通常総会開催．平成17年度建築工事実務講習会．シティプラザ大阪見学会―大阪府市町村職員共済組合会館―．常設委員会の委員及びサポーターに就任し委員会活動に活躍されませんか……3
若き創造者たちへ―平成18年9月号「第53回青年技術者特集号」へのおさそい―．第7回「日本建築協会賞」の応募と応募用紙．第52回工高生デザインコンクール……4
若き創造者たちへ―平成18年9月号「第53回青年技術者特集号」へのおさそい―．総会議決のお知らせ―平成18年度事業計画書、平成18年度収支予算書―．橋爪紳也講演会と会員交流懇親会の開催．第52回工高生デザインコンクール．第7回「日本建築協会賞」の募集……5
若き創造者たちへ―平成18年9号「第53回青年技術者特集号」へのおさそい―．平成18年度第1回通常総会開催．橋爪紳也講演会と会員交流懇親会の開催．これからの建築と社会⑥「建築物の耐震強度偽装問題／その背景と今後の展望」講演者　巽和夫氏……6
総会決議お知らせ．臨時理事会議決のお知らせ．クロスタワー大阪ベイ見学会．平成17年度事業報告書．平成17年度決算報告書．平成18年度日本建築協会役員会務分掌．平成18年度日本建築協会評議員．平成18年度に本建築協会支部長……7
出版委員会企画③〈プロのノウハウ講座〉現場で学ぶ住まいの雨仕舞い．クロスタワー大阪ベイ見学会．平成18年度日本建築協会常設委員会委員名簿．第12回会員作品特集号"私の空間作法"作品募集……8
出版委員会企画③〈プロのノウハウ講座〉現場で学ぶ住まいの雨仕舞い．青年技術者表彰式、江副敦史氏講演会そして懇親会／ご参加を．私の空間作法作品募集……9
日本建築協会のありかたについて―ぜひ、あなたのご意見を!．アイデアコンペ「都市の魅力をつくる―中之島の将来を考える」．第52回工高生デザインコンクール入選者発表．2006年建築関係団体合同忘年懇親会．2007年建築関係14団体合同新年交礼会……11
第23回茶室見学会「朝雲庵」―利休大坂屋敷の茶室の復元―．第6回読者と選ぶ「建築と社会」賞実施（予告）……12

月報

日本建築協会月間の動き
（平成17年11月～平成18年10月）

日本建築協会企画・販売

出版図書一覧

1917年3月に創設された日本建築協会（当時・関西建築協会）は、すでに昭和初期には大阪近辺で住宅博覧会や建築講演会を開く一方、当時は入手しにくかった建築の情報を図書の出版という形で会員に提供していた。

*

以後、創立周年記念事業として、その時代の動きをとらえて単行本を出版している。

50周年、60周年、70周年、そして80周年に、図書の出版が企画され、現在も継続して発行・販売されている出版物は、以下のとおり。

*

購入希望者は、㈳日本建築協会事務局（TEL06—6946—6981、FAX06—6946—6984）まで。

日本建築協会創立70周年記念出版

住宅近代化への歩みと日本建築協会 1988年

A4判　企画・発行：日本建築協会　本体価格1,500円

日本建築協会創立75周年記念出版

工高生デザインコンクール入選作品集 1992年

A4判　企画・発行：日本建築協会　本体価格2,000円

昭和生まれ　関西の建築家50 1987年

A4判　企画・発行：日本建築協会　本体価格1,500円

日本建築協会建築クラブ朝食会300回記念講演記録集

講演記録集 **話のはなし** 1997年

B6判5分冊　企画：日本建築協会建築クラブ　頒布価格2,500円（税・送料込み）

民間（旧四会）連合協定

工事請負契約約款

工事請負契約書・仲裁合意書・契約書使用上の留意事項

1部￥230（税込み）送料　実費

日本建築協会事務局（06-6946-6981）で頒布

日本建築協会創立60周年記念事業

建築技術選書

企画：日本建築協会
発行：学芸出版社

A5判・130頁～160頁　本体価格￥1,200～￥1,400

各冊￥100割引頒布中〈日本建築協会事務局（06-6946-6981）にて〉

- 3 マイコンによる構造設計のすすめ（改訂版）　魚木晴夫
- 19 住宅設計とインテリア　福岡喜久雄
- 24 鉄骨構造の話　金多潔・甲津功夫・西沢英和
- 27 建築積算業務　生島道道
- 28 建築金物の知識　立野一郎

日本建築協会創立60周年記念事業「建築技術選書」姉妹篇・四六判2色刷イラスト入

〈プロのノウハウ〉シリーズ

企画：日本建築協会　発行：学芸出版社　本体価格￥1,600～￥2,500

- 軀体工事監理のチェックポイント100　須賀好富
- 空調設備のトラブル50　建築設備トラブル研究会
- 衛生設備のトラブル50　建築設備トラブル研究会
- 鉄筋工事・本音の現場学　荒川治徳
- 建築基準法の難解条文を読みこなすコツ　高木任之
- 建築と音のトラブル　中川清ほか
- 木造住宅監理の話　山田　修
- 環境と共生する建築25のキーワード　大西正宜
- 鉄骨工事の現場学　石田満商
- 仕上工事監理のチェックポイント　日建設計監理業務研究会
- 木造住宅のしくみ　在来工法の基本と応用　浅野平八・東　敏博
- コンクリート工事のチェックポイント100〈新版〉　加賀秀治
- インテリアコーディネートの100ポイント　町田ひろ子監修／松本　茂・村元俊子著
- 木づくりの常識非常識　上村　武
- 建築トラブルにみる常識非常識　荒川治徳
- 建築関連法規を読みこなすコツ　高木任之
- 徹底解説〈大改正〉建築基準法　高木任之
- 建築の現場管理システム　伊東貞夫
- 新版建築物の消防法を読みこなすコツ　高木任之
- 新版コンクリート工事のチェックポイント100　加賀秀治
- 建築基準法の性能規定を読みこなすコツ　高木任之
- 新版　都市計画法を読みこなすコツ　高木任之
- 新版　建築基準法を読みこなすコツ　高木任之
- 建築工事の祭式　「建築工事の祭式」編集委員会
- 飛躍する構造デザイン　渡辺邦夫
- 改訂版　都市計画法を読みこなすコツ　高木任之
- 改訂版　建築基準法を読みこなすコツ　高木任之
- 改訂版　建築物の消防法を読みこなすコツ　高木任之
- プロが教えるキッチン設計のコツ　井上まるみ

日本建築協会創立70周年記念事業・B5判

選書特装版

企画・日本建築協会　発行・学芸出版社　本体価格￥2,800～￥3,800

- 水にまつわるトラブルの事例・解決策〈建築篇〉　「建築漏水」編集委員会
- 水にまつわるトラブルの事例・解決策〈設備篇〉　「設備漏水」編集委員会
- 建物の汚れ－トラブル事例と解決策　「建物の汚れ」編集委員会
- 建築デザインのための構造計画　須賀好富
- 入門・建築積算　生島道春
- 建物の結露－トラブル事例と解決策　「建物の結露」編集委員会

空調・衛生・クリーンルーム設備
（設計・施工）

朝日工業社

本社・本店　東京都港区浜松町1-25-7　電話03(3432)5711
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話06(6302)2270
支　　店　北海道/東北/北関東/横浜/名古屋/中国/九州

OKUJU
Space Creator
クオリティ＆コストパフォーマンス
ALTsシステム
スナップ工法
SP-600
メタルシステム天井
内外装創作パネル・システム天井・間仕切
株式会社 オクジュー
本　社
大阪市北区西天満5丁目3番7号　〒530-0047
TEL(06)6312-4131　FAX(06)6312-7998
東京・九州・南九州・名古屋・上海

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工
ダイダン株式会社
本店・大阪本社　〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)6441-8231
東京本社　〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

CHOYO
人がいる多彩なフィールドで、
新しい限界に挑戦しています。
電気設備設計施工
朝陽電気株式会社
代表取締役　山本貴士
本　社　〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目2-4(朝日ビル)
TEL 06(6385)1361(代)　FAX 06(6385)1050

Digital Pri-Press
AOBA PRINTING CO.,LTD.,
代表取締役社長 依藤孝行
青葉印刷株式会社
〒534-0027 大阪市都島区中野町2丁目10番11号
Phone.06-6351-5428 Fax.06-6351-5299

地球環境を守り、100年建築に貢献する
NACL のアルミ表面処理
株式会社日本電気化学工業所
http://nacl.jp　E-mail:sc@nacl.co.jp
本部営業部　〒560-0036 大阪府豊中市蛍池西町2丁目7番26号 NACLﾋﾞﾙ2階
TEL (06)6843-1235(代) FAX (06)6853-1632
東京事務所　〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目7-2 東京NACLﾋﾞﾙ
TEL (03)3862-0978(代) FAX (03)3862-7098

デンカCSAファミリー製品

●デンカCSA（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

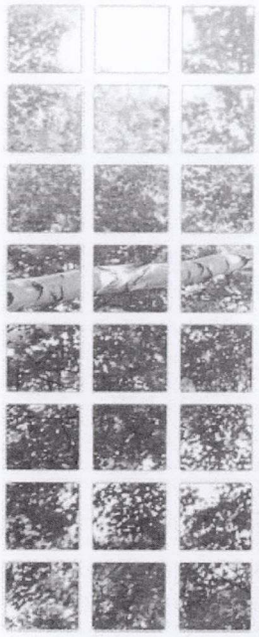
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・京丹後（0772）72－2220
舞　鶴（0773）76－0133

金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）6332－6861
TEL 東京（03）3272－8501

小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）6443－6181

光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）6252－6000

東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381
TEL　大阪（06）6877－1581



環境親和を考える旭化成建材

安心・安全・快適宣言
For Safety & Amenity

建築資材
ヘーベル
ベースパック
ファブラックス G
イーカプラ
フリードーナツ
ハイノジ 50
ヘーベルライト耐火被覆
ノジレックス
ベネフット

住宅資材
ヘーベルライト
ヘーベルパワーボード
ユカテック
エコステージ
さらら
ナノルーフ
タイベック ルーフライナー

パイル・地盤改良
AHS パイル
ACCS パイル
イーゼット
ダイナキャップ
CMJ 工法
RODEX 工法
ST-RODEX 工法
ダイナビック
DYNAWING

断熱材
サニーライト
ネオマフォーム

リフォーム
タイルでR

旭化成建材株式会社

東京／〒105-0021　東京都港区東新橋2-12-7(住友東新橋ビル2号館)
建築資材　TEL.03-5473-5310　パイル　TEL.03-5473-5340
住宅資材　TEL.03-5473-5322　イーゼット　TEL.03-5473-5232
構造資材　TEL.03-5473-5316　ATTコラム　TEL.03-5473-5342
断熱材　TEL.03-5473-5321　リフォーム　TEL.03-5473-5272
札幌・仙台・名古屋・金沢・大阪・高松・広島・福岡

http://www.asahikasei-kenzai.com/

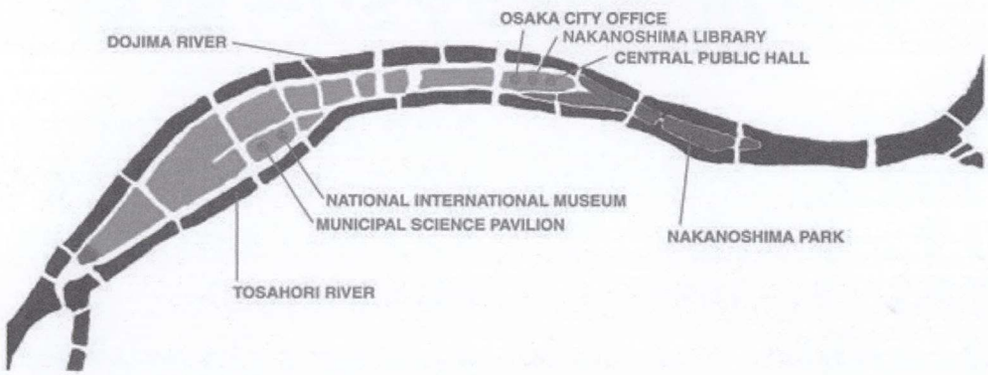


建材 gallery／

〒105-0013
東京都港区浜松町 1-2-3
泉浜松町ビル
TEL.0120-787-157

大阪ロータリークラブ・日本建築協会共催

デザインアイデアコンペ「都市の魅力をつくる―中之島の将来を考える―」



大阪の中心に横たわる中之島。歴史的建造物や美術館・オフィス・ホテルが点在するこの島は、都市のにぎわいが濃縮されたゾーンとして世界に誇れるものであり、大阪の都市観光の重点地区としても今後ますます期待されています。
平成20年に予定されている中之島新線の完成により公共交通の整備は飛躍的に高まりますが、中之島の魅力を高めるために、水辺の整備や歩行者ネットワークの整備など、従来の発想にない提案が求められます。いきいきとした中之島がどうあるべきか。あなたのイメージで、夢のある提案を自由につくりあげてください。

●提案内容　中之島の将来イメージを構想しつつ、次のいずれかを自由に提案してください。
①中之島の魅力的都市景観形成に関する提案　②中之島の歩行者空間、交差点などの公共的空間の魅力づくりに関する提案　③中之島の既存建築物の活用・活性化に関する提案

●提出様式　A1・1 枚。　●参加資格　制限なし。

●募集期間　2006 年 11 月 6 日(月) ～ 2007 年 1 月 20 日(土) 消印有効

●表　彰　2007 年 2 月 24 日(土) に最優秀 1 点(30 万円)、優秀作 数点(各 10 万円)を表彰すると共に展示

●詳細は本会ホームページ(http://www.aaj.or.jp)をご覧ください。

元旦

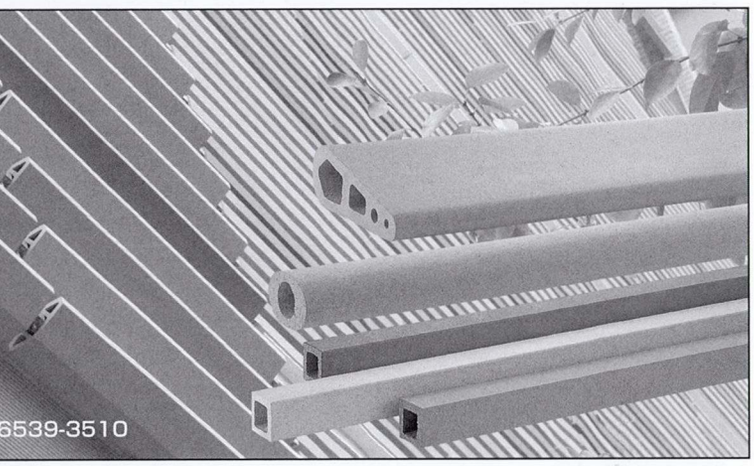
高品質と責任施工の屋根システム

製造
発売元 元旦ビューティ工業株式会社
本　社　神奈川県藤沢市湘南台1-1-21　TEL(0466)45-8771

フリーダイヤル 0120- マルク ヨク サンキュー 09-49-39
URL　http://www.gantan.co.jp

LINAX

セラミックスの可能性を追求。
テラコッタルーバー



設計者の想いに、技術と感性で応える。
株式会社 INAX　関西統括支社プロジェクト統括営業部　☎06-6539-3510



写真セット希望小売価格 ¥786,700（税込¥826,035）間口 2000mm

やります「生活環境企業」。
TOTO

マーブライトカウンター
スタンダードシリーズ・ボウル一体タイプ 新登場

マーブライトカウンター スタンダードシリーズにボウル一体タイプが登場しました。
省スペース対応なので、リモデルにも最適です。

- 今までにない ボウル一体カウンター：一体成形の際立つデザイン
- 省スペース設計が可能です：間口590mm～3150mm対応
- 豊富なカラーバリエーション：空間に合わせ組み合わせ自在

商品の技術的なお問い合わせは、TOTOナビダイヤル
FAX.0570-01-2111　TEL.0570-01-1010
受付時間〈平日〉9:00～18:00 〈土・日・祝日〉10:00～18:00（夏期休暇・年末年始を除く）
ホームページ専門家コーナー　www.com-et.com

まいにちにユニバーサルデザインを TOTO

Knowledge

アスベストを知る…すべてに安全な建物を目指して

飛散性吹付けアスベストの除去と封じ込め技術

信頼されるアスベスト処理技術（3）

株式会社エーアンドエーマテリアル

飛散性吹付アスベスト処理技術

本年９月１日、アスベストの健康障害防止対策の充実を図るため、労働安全衛生法施行令及び石綿障害予防規則の一部が改正され、さらには10月１日に大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法とアスベスト関連の法令が次々と改正された。

これまでアスベスト含有率（重量比）１％をこえるものの製品をアスベスト含有製品としてきたが、今後、0.1％をこえる製品をアスベスト含有製品とすることとなり、建築基準法では、増改築時において飛散のおそれのある吹付アスベスト、アスベスト含有吹付ロックウールは、原則除去することが義務づけられた。

これにより、事業者は建築物等の解体または増改築等の作業を行う場合には、事前にアスベストの使用状況を目視及び設計図書等による調査を実施し、アスベストの使用が明確とならない場合にはサンプリングを行い、その調査分析の結果を記録することが義務づけられた。

アスベスト含有調査

①アスベストの含有調査を行うには、第一次スクリーニングとして設計図書等により、メーカーが公表しているアスベスト含有商品が記載されているか、否かを確認する。

②確認が取れない材料であれば、第二次スクリーニングとして現場調査を行い、分析のためのサンプリングを行う。吹付け材のサンプリングは１ヶ所当たり10㎝程度で３ヶ所、１フロアーの施工面積が3,000㎡以上の場合は600㎡ごとに３ヶ所のサンプリングを行う。

③含有調査の実施はアスベスト診断士や特別化学物質等作業主任者の資格保有者が行うことが望ましい。

アスベスト分析

建材中のアスベスト含有率の分析方法については，平成８年３月29日付け基発第188号及び平成17年６月22日付け基安化発第0622001号と平成18年３月25日付けにて制定されたJISA1481にて、その重量の１％を超えて含有するか否かの判定を行っていたが、本年９月１日付けにてアスベストの含有率が１％から0.1％に改められたことにより、その分析方法もJISA1481による分析方法だけに絞られた。

定性分析方法として分散染色法及びX線回折法、定量分析方法として酸処理後のX線回折法が採用されている。これにより、過去に行った分析結果に対する扱いは、（分析結果：アスベスト「無」．１％以下で繊維含有）と報告された物は再分析の必要があり、その結果0.1％を超えて含有していれば、アスベスト含有製品となる。

飛散性吹付アスベストの処理

10月１日付けの建築基準法の改正により、吹付アスベスト及びアスベスト含有吹付ロックウールが使用されている建物では解体時の他、増改築時においても原則除去することが義務づけられた。また、建物の解体または増改築以外の場合でも、通常時において、建物に吹付けられたアスベスト等が損傷、劣化し、そこで働く労働者がアスベスト粉じんに曝露するおそれのある時は、そのアスベストの除去、封じ込め、または囲い込み等による措置を講じなければならず、この時、アスベストの付着強度が20g/㎠以下であれば除去することが望ましく、除去作業が困難を極めるようであれば、囲い込みにより全体を密封状態とする必要がある。

アスベスト関連法令

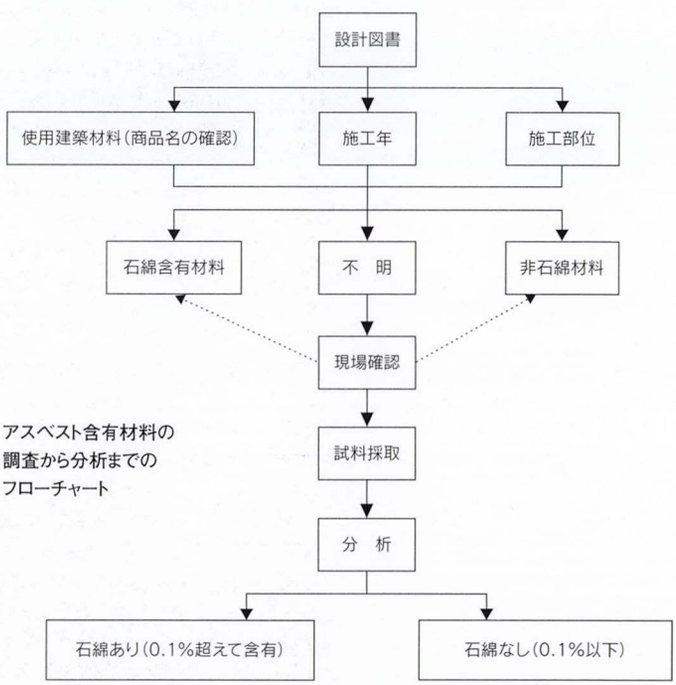
アスベスト関連に係わる法令は厚生労働省をはじめ国土交通省・環境省等多岐にわたり規制されており、届出書類等の扱いに煩雑を極めていたが、安衛法等と大防法の事前届出についてワンストップサービス化が検討され始めている。

アスベスト関連については、主に下記法令により規制がなされている。

・労働安全衛生法・石綿障害予防規則・大気汚染防止法・建築基準法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律・宅地建物取引業法・住宅の品質確保の促進に関する法律、等

今後のアスベスト含有建材の処理

アスベスト含有建材は吹付耐火材のような飛散性のものから、屋根材・内外装材のような非飛散性のものがあり、現在は主に飛散性材料が対象に処理されている。今後は非飛散性アスベスト建材の処理が予測され、その処理に30年～40年を費やすだろうといわれている。また、その膨大なアスベスト廃材を処理する場所がなくなることから、高熱による溶融処理・プラズマによる熱処理・薬剤による無害化処理等の研究開発が盛んに行われてきている。　（完了）



アスベスト含有材料の調査から分析までのフローチャート

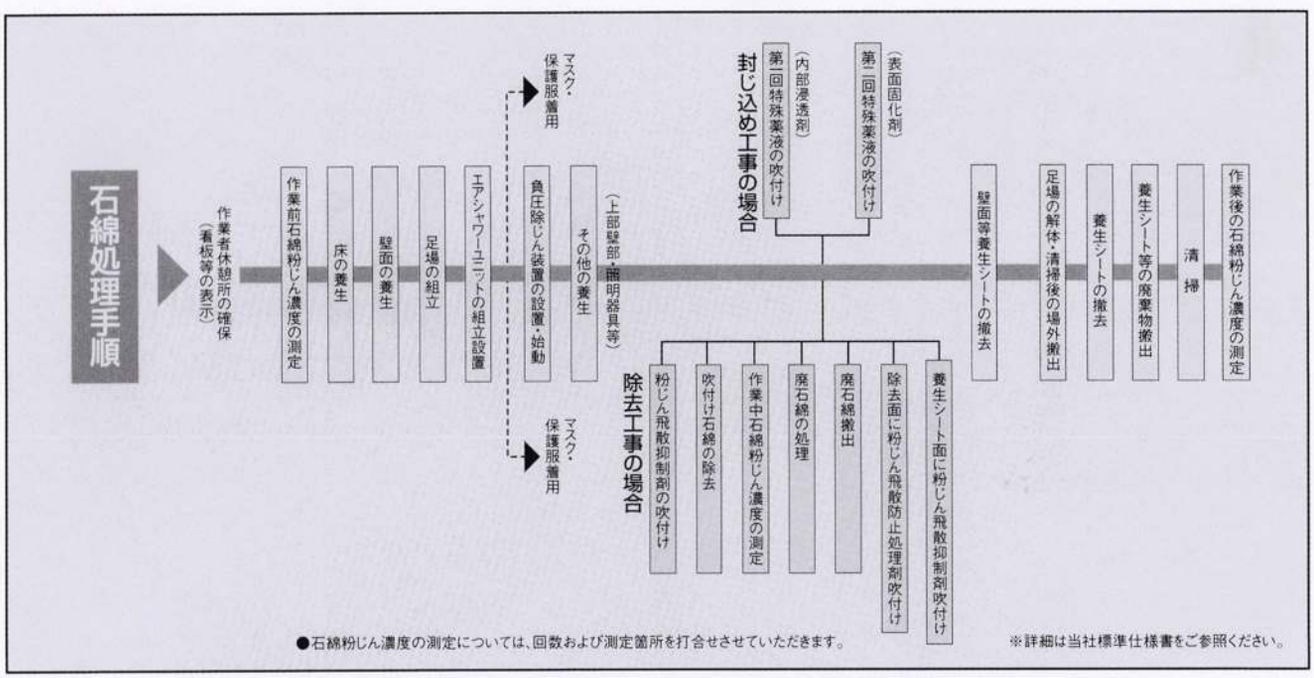
人に優しく、地球にやさしい。
human material supplier



AA&M

Aクラスの建材。Aクラスの工事。

国内一の処理実績を有する
吹付けアスベスト処理システム



★ホームページ　http://www.aa-material.co.jp

株式会社エーアンドエーマテリアル

〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央2-5-5

045-503-5771（建設建材事業部門）

新発売！

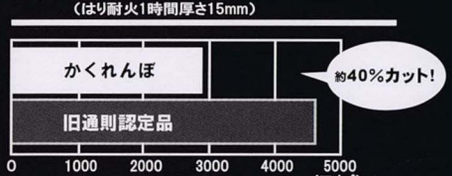
ゾノトライト系けい酸カルシウム耐火被覆板

ニュータイカライト かくれんぼ

見え隠れ部専用耐火被覆板

クオリティを追求した鉄骨耐火被覆材が
隠蔽部に特化して大幅コストダウン！

設計価格 2880円／㎡～
（はり耐火1時間厚さ15mm）



天井裏などの見え隠れ用に特化したことで、意匠性を省き、大幅なコストダウンに成功。
従来の旧通則認定品に比べ約40%カット。
設計価格2880円/㎡～（材工共）

信頼の耐火品質

数分で1000℃まで急速加熱しても、ほとんど収縮しない抜群の耐熱性能。予想外の過酷な火災条件下でも建物を火災から守ります。
その耐火性能は、工場製造で厚み・比重・材料組成を徹底管理。安心の品質を保証します。
【JIS A 5430 けい酸カルシウム板タイプ3認定品】

さび止め不要。

優れた吸放湿性能と弱アルカリ性を有しますので、被覆内の鉄骨表面の結露とさびの発生を防ぎます。

健康・環境にも配慮

発ガン性物質やVOCを製品中に含まないので、安心してご利用いただけます。
粉塵発生が少なく、天井内を給排気チャンバーに用いる場合の耐火被覆材として最適です。
そして、廃材はリサイクルできる環境にやさしい材料です。



取扱い商品

- 鉄骨耐火被覆板
- カーテンウォール耐火ボード
- 免震装置用耐火被覆板
- 防火区画ケーブル貫通部延焼防止材
- 不燃内装材
- 調湿建材
- 煙突ライニング材

JIC
日本インシュレーション株式会社
www.jic-bestork.co.jp

東　京　TEL 03-3553-7531　FAX 03-3553-4530
名古屋　TEL 052-243-0061　FAX 052-243-0063
大　阪　TEL 06-6633-7322　FAX 06-6643-7480

建築と社会　2006.12　Vol.87　No.1017
社団法人 日本建築協会　〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31　電話 06-6946-6981　FAX 06-6946-6984　http://www.aaj.or.jp
毎月1回1日発行　昭和24年3月19日 第3種郵便物認可　ISSN 0912-8182
定価1,200円（税込）　正会員の講読料は会費に含めて徴収

雑誌　03379-12